

養老町まちづくりアンケート 調査結果報告書

令和元年 8 月

養 老 町

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 調査票の回収結果	1
(4) 標本誤差	2
(5) 報告書の見方	3
2. 一般アンケートの調査結果	4
(1) 回答者の属性	4
(2) 町の住みやすさについて	7
(3) 地域・まちづくり活動について	13
(4) 町のイメージ・将来像について	16
(5) 施策の満足度・重要度について	20
(6) 町の魅力や地域資源について	28
3. 高校生アンケートの調査結果	31
(1) 回答者の属性	31
(2) 町の印象やイメージなどについて	32
4. 使用調査票	37

1. 調査概要

(1) 調査の目的

養老町では、《誇りと愛着が持てる 絆を大切にするまち 養老》を将来像に掲げ、「養老町第五次総合計画（絆プラン）」に基づくまちづくりを進めていますが、令和2年（2020年）度で計画が終了することから、引き続き、長期的な視点に立ち、町政運営を総合的かつ計画的に進めていくため、「（仮称）養老町まちづくりビジョン（第六次総合計画）」を策定することになりました。

そこで、町民の皆様のお考えやご意向をお聞きし、養老町の未来をみんなで考え、まちづくりビジョンに反映するために、「養老町まちづくりアンケート ～まちの未来をみんなで考えよう～」を実施いたしました。本調査の結果については、今後の町政運営の基礎資料として活用してまいります。

(2) 調査対象及び調査方法

<一般アンケート>

①調査対象

町内に在住する満18歳以上の町民2,000名を無作為に抽出

②調査方法

郵送による配布・回収

③調査期間

平成30年11月

<高校生アンケート>

①調査対象

大垣養老高等学校2年生の全生徒

②調査方法

学校での配布・回収

③調査期間

平成31年1月

(3) 調査票の回収結果

	一般アンケート	高校生アンケート
標本数	2,000 (100.0%)	224 (100.0 %)
回収数 (率)	1,149 (57.5%)	224 (100.0 %)
有効回収数 (率)	1,148 (57.4%)	224 (100.0 %)

(4) 標本誤差

この調査は、母集団である 18 歳以上の全町民から一部の標本を無作為に抽出して行い、その調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が「標本誤差」です。

今回の調査では、下記の式で標本誤差を求めることができます。

$$\text{標本誤差 } \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

P: 回答率(%) n: 回収数

下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

この表の見方について例を挙げると、「全体の回収数が 1,148 人であり、ある設問のある選択肢の回答率が 50%であった場合、その回答率の全数調査との誤差の範囲は最高で±3.0%であり、実際の回答率は 47.0%～53.0%の範囲にある」と意味づけられるものです。

したがって、本調査において回答が最も分散した場合でも、全体の結果は 3.0%の誤差しか生じないと考えられ、統計学上有効な調査であるといえます。

<一般>		回収数 n (人)	回答率 P (%)									
			5%・ 95%	10%・ 90%	15%・ 85%	20%・ 80%	25%・ 75%	30%・ 70%	35%・ 65%	40%・ 60%	45%・ 55%	50%
全 体		1,148	1.3	1.8	2.1	2.4	2.6	2.7	2.8	2.9	2.9	3.0
男 性	男性全体	528	1.9	2.6	3.1	3.5	3.8	4.0	4.2	4.3	4.3	4.4
	29 歳以下	44	6.6	9.0	10.8	12.1	13.1	13.8	14.4	14.8	15.0	15.1
	30～39 歳	60	5.6	7.7	9.2	10.3	11.2	11.8	12.3	12.6	12.8	12.9
	40～49 歳	87	4.7	6.4	7.7	8.6	9.3	9.8	10.2	10.5	10.7	10.7
	50～59 歳	102	4.3	5.9	7.1	7.9	8.6	9.1	9.4	9.7	9.9	9.9
	60～69 歳	150	3.6	4.9	5.8	6.5	7.1	7.5	7.8	8.0	8.1	8.2
	70 歳以上	84	4.8	6.5	7.8	8.7	9.4	10.0	10.4	10.7	10.9	10.9
女 性	女性全体	617	1.8	2.4	2.9	3.2	3.5	3.7	3.8	3.9	4.0	4.0
	29 歳以下	54	5.9	8.2	9.7	10.9	11.8	12.5	13.0	13.3	13.5	13.6
	30～39 歳	84	4.8	6.5	7.8	8.7	9.4	10.0	10.4	10.7	10.9	10.9
	40～49 歳	114	4.1	5.6	6.7	7.5	8.1	8.6	8.9	9.2	9.3	9.4
	50～59 歳	121	4.0	5.5	6.5	7.3	7.9	8.3	8.7	8.9	9.0	9.1
	60～69 歳	157	3.5	4.8	5.7	6.4	6.9	7.3	7.6	7.8	7.9	8.0
	70 歳以上	86	4.7	6.5	7.7	8.6	9.3	9.9	10.3	10.6	10.7	10.8

<高校生>		回収数 n (人)	回答率 P (%)									
			5%・ 95%	10%・ 90%	15%・ 85%	20%・ 80%	25%・ 75%	30%・ 70%	35%・ 65%	40%・ 60%	45%・ 55%	50%
全 体		224	2.9	4.0	4.8	5.3	5.8	6.1	6.4	6.5	6.6	6.7

(5) 報告書の見方

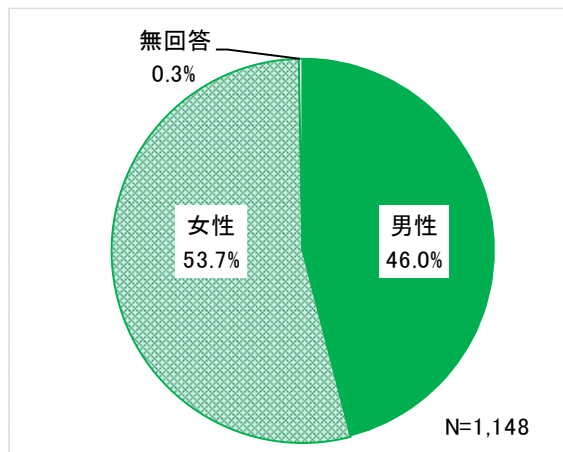
- ・ グラフ・表中の「N」はアンケート回答者のサンプル数（件数）を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、無回答者がなかった場合は「無回答」の表示を省略しています。また、文字数の多い選択肢については、簡略化して表記している場合があります。
- ・ グラフにおいて、比率が0.0の場合は数値を省略しています。

2. 一般アンケートの調査結果

(1) 回答者の属性

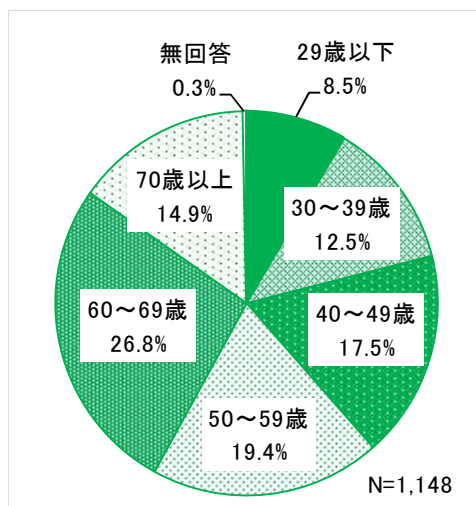
【性別】

回答者の性別は、男性が 46.0%、女性が 53.7%となっています。



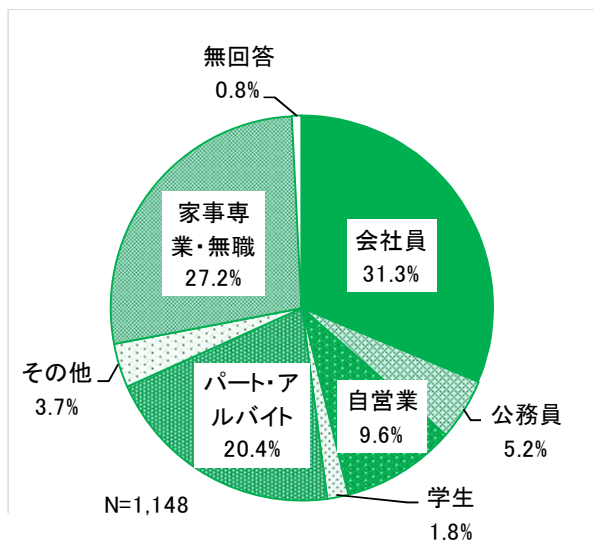
【年齢】

年齢は、「60～69 歳」が 26.8%で最も高く、次いで「50～59 歳」(19.4%)、「40～49 歳」(17.5%)、「70 歳以上」(14.9%) の順で高くなっています。



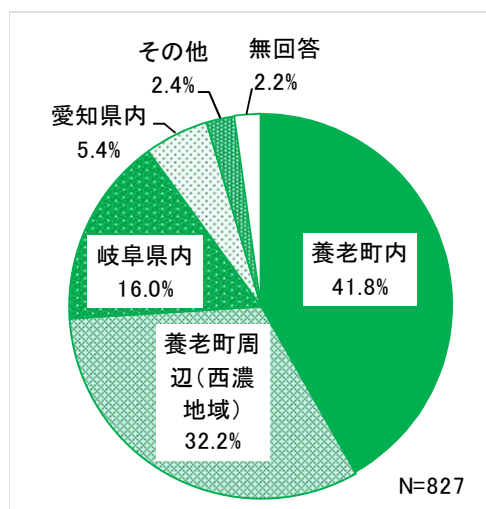
【職業】

職業は、「会社員」が 31.3%で最も高く、次いで「家事専業・無職」(27.2%)、「パート・アルバイト」(20.4%)、「自営業」(9.6%) の順で高くなっています。



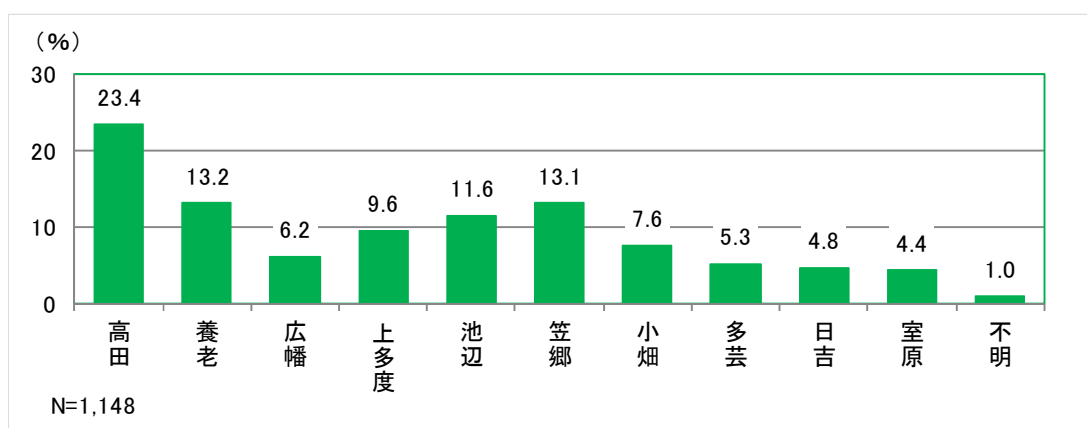
【勤務地】

勤務（自営）地は、「養老町内」が41.8%で最も高く、次いで「養老町周辺（西濃地域）」（32.2%）、「岐阜県内」（16.0%）の順で高くなっています。



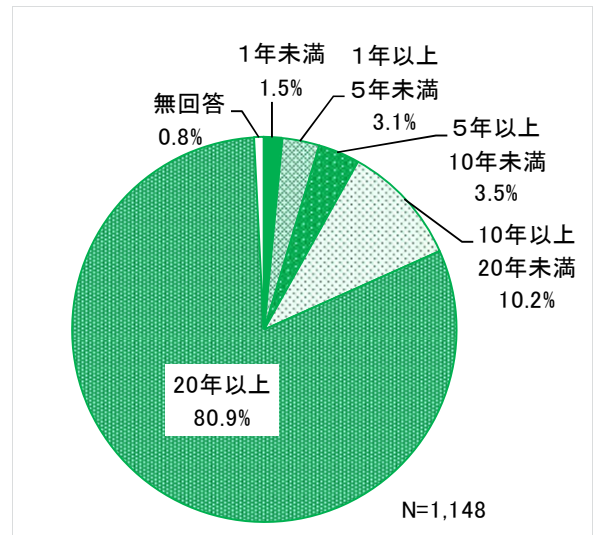
【居住地区】

居住地区は、「高田」が23.4%で最も高く、次いで「養老」（13.2%）、「笠郷」（13.1%）、「池辺」（11.6%）、「上多度」（9.6%）の順で高くなっています。



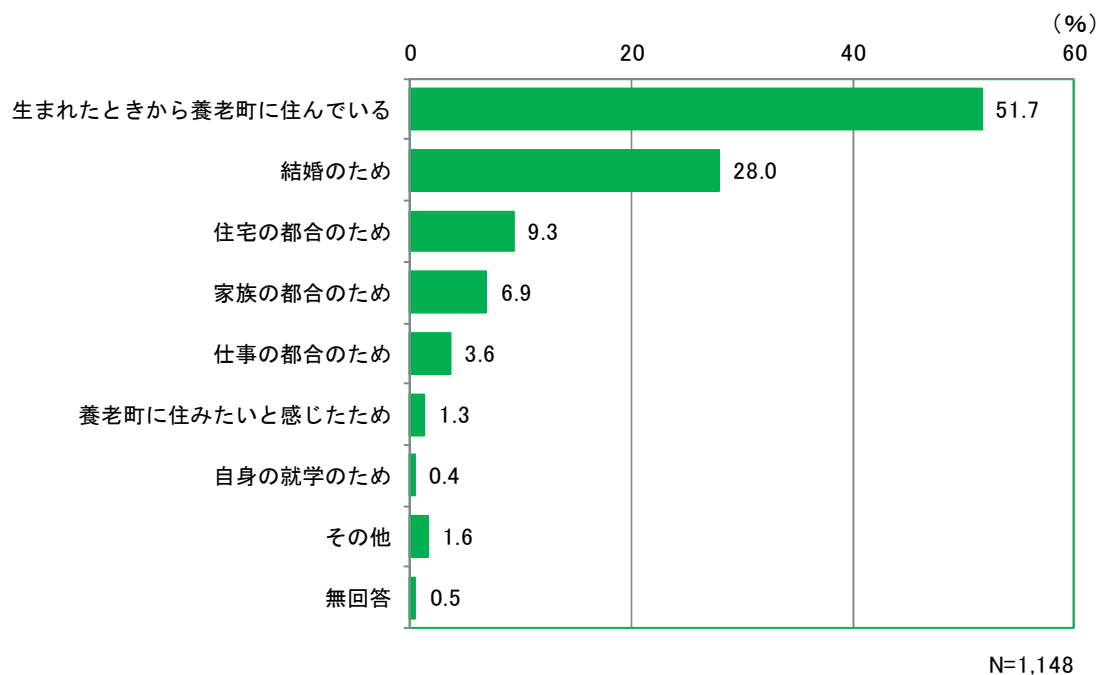
【居住年数】

養老町での居住年数は、「20 年以上」が 80.9%で最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」（10.2%）が高くなっています。



【養老町を居住地に選んだ理由】

養老町を居住地に選んだ理由は、「生まれたときから養老町に住んでいる」が 51.7%で最も高く、次いで「結婚のため」（28.0%）、「住宅の都合のため」（9.3%）、「家族の都合のため」（6.9%）の順で高くなっています。



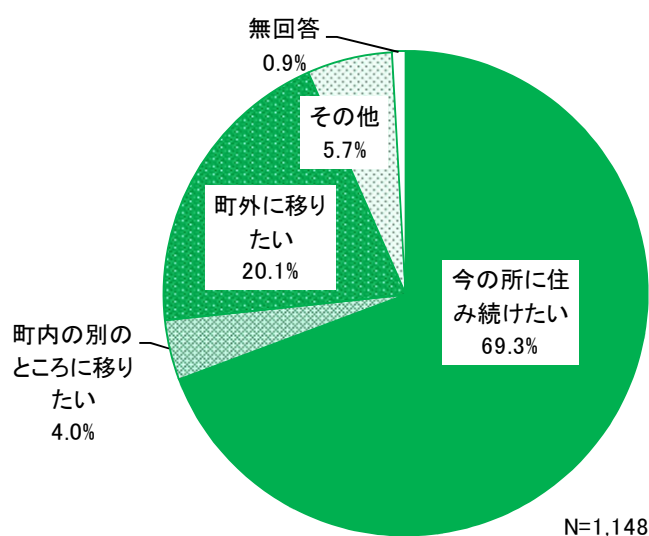
(2) 町の住みやすさについて

問 8	あなたは、養老町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)
-----	------------------------------

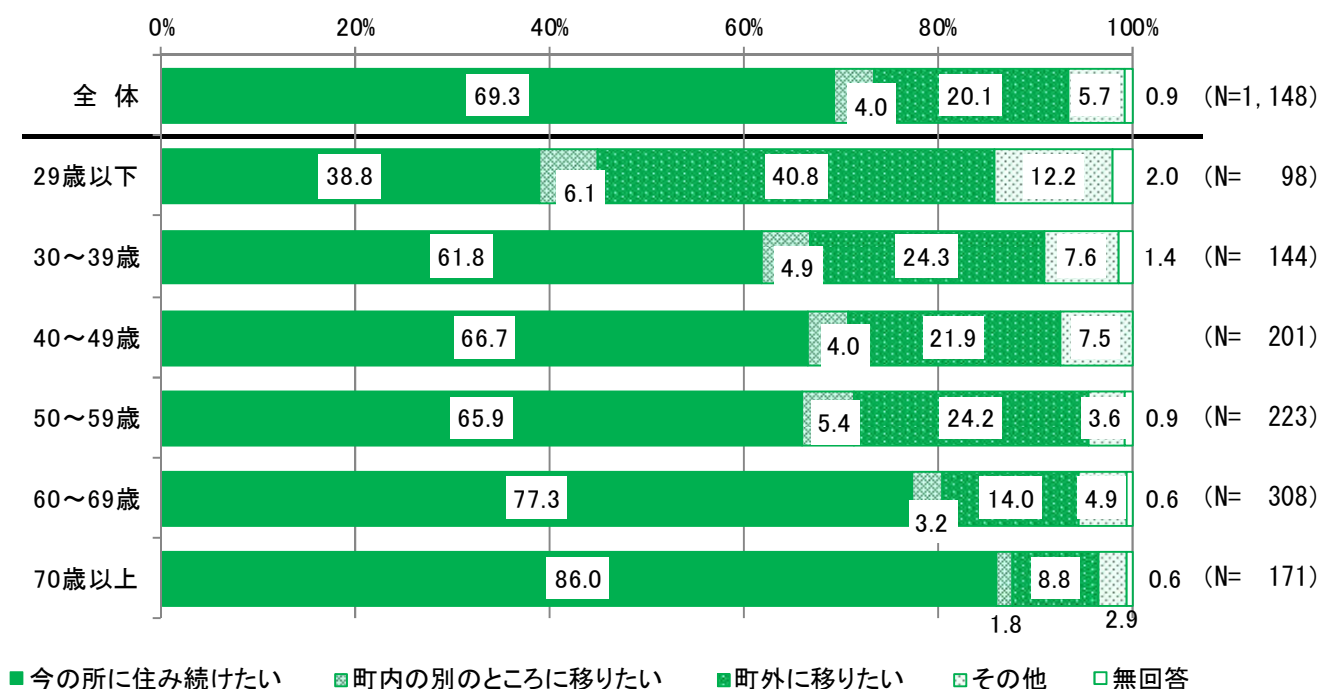
今の所に住み続けたいと思う人は 69%

- 養老町への居住意向については、「今の所に住み続けたい」が 69.3%で最も高く、次いで「町外に移りたい」(20.1%)、「町内の別のところに移りたい」(4.0%) の順で高くなっています。
- 年齢別でみると、「今の所に住み続けたい」は概ね年齢が高いほど割合が高く、70 歳以上で 86.0%となっています。一方、「町外に移りたい」は 29 歳以下で 40.8%と高くなっています。

図表 1 養老町への居住意向

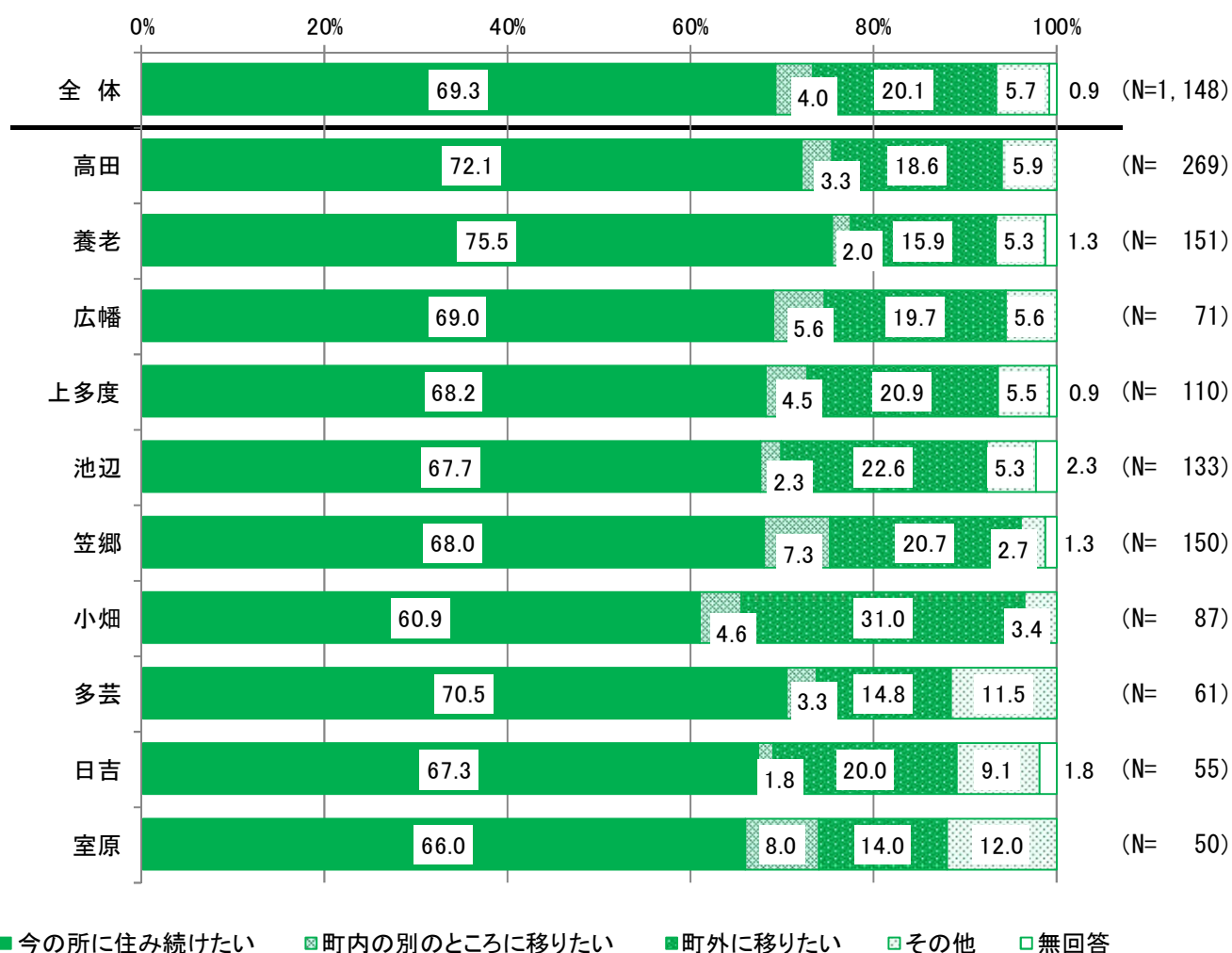


図表 2 養老町への居住意向【年齢別】



- 地区別でみると、「町外に移りたい」は小畑地区（31.0％）で最も高く、室原地区（14.0％）で最も低くなっています。

図表 3 養老町への居留意向【地区別】

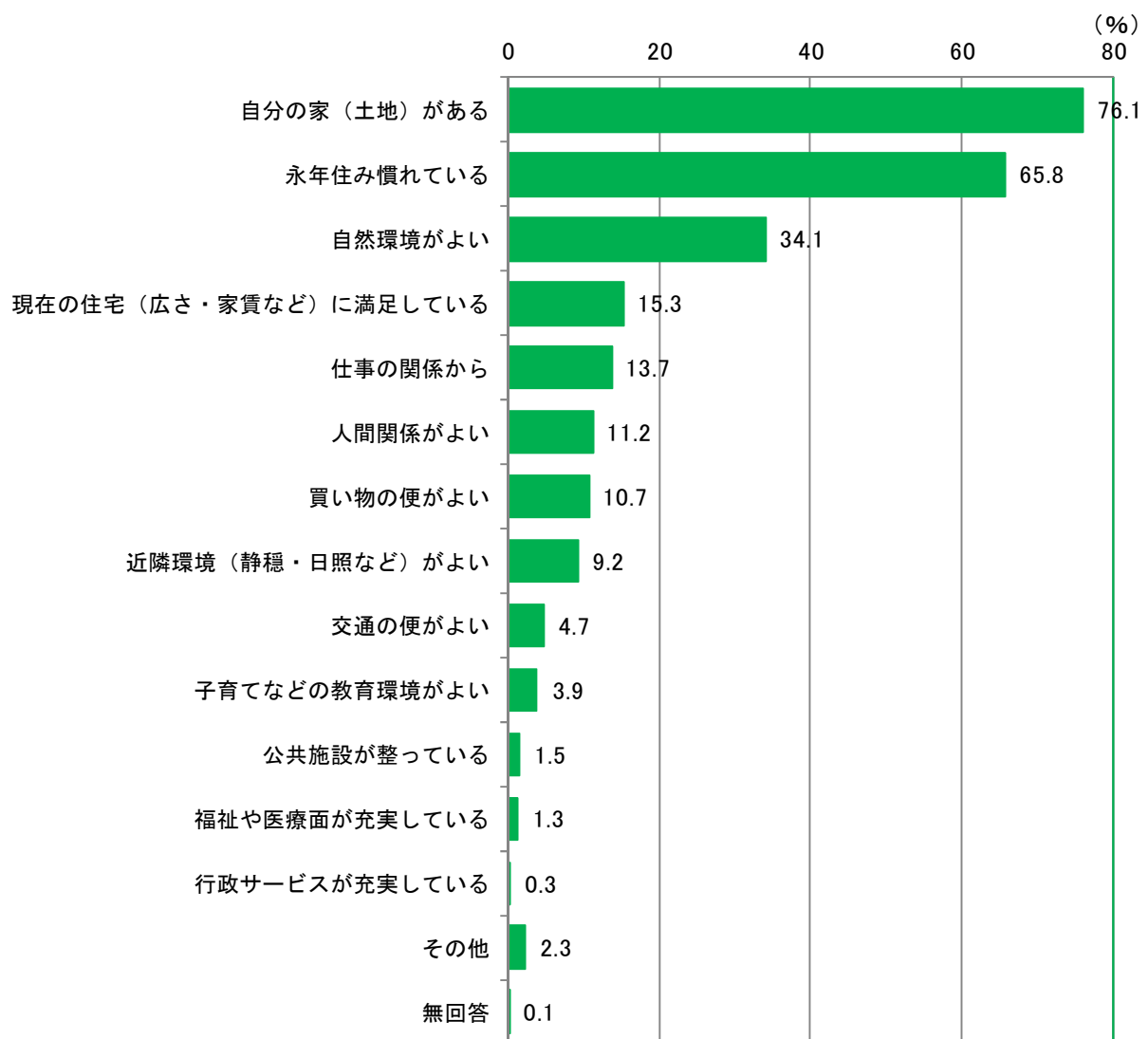


問 9	(問 8 で「今の所に住み続けたい」と回答された方に) 今の所に住み続けたいと思う理由について、選んでください。(○は3つまで)
-----	---

今の所に住み続けたい理由は、「自分の家（土地）があるから」が 76%

- 今の所に住み続けたい理由は、「自分の家（土地）があるから」が 76.1%で最も高く、次いで「永年住み慣れている」(65.8%)、「自然環境がよい」(34.1%)、「現在の住宅（広さ・家賃など）に満足している」(15.3%)、「仕事の関係から」(13.7%)の順で高くなっています。

図表 4 今の所に住み続けたい理由



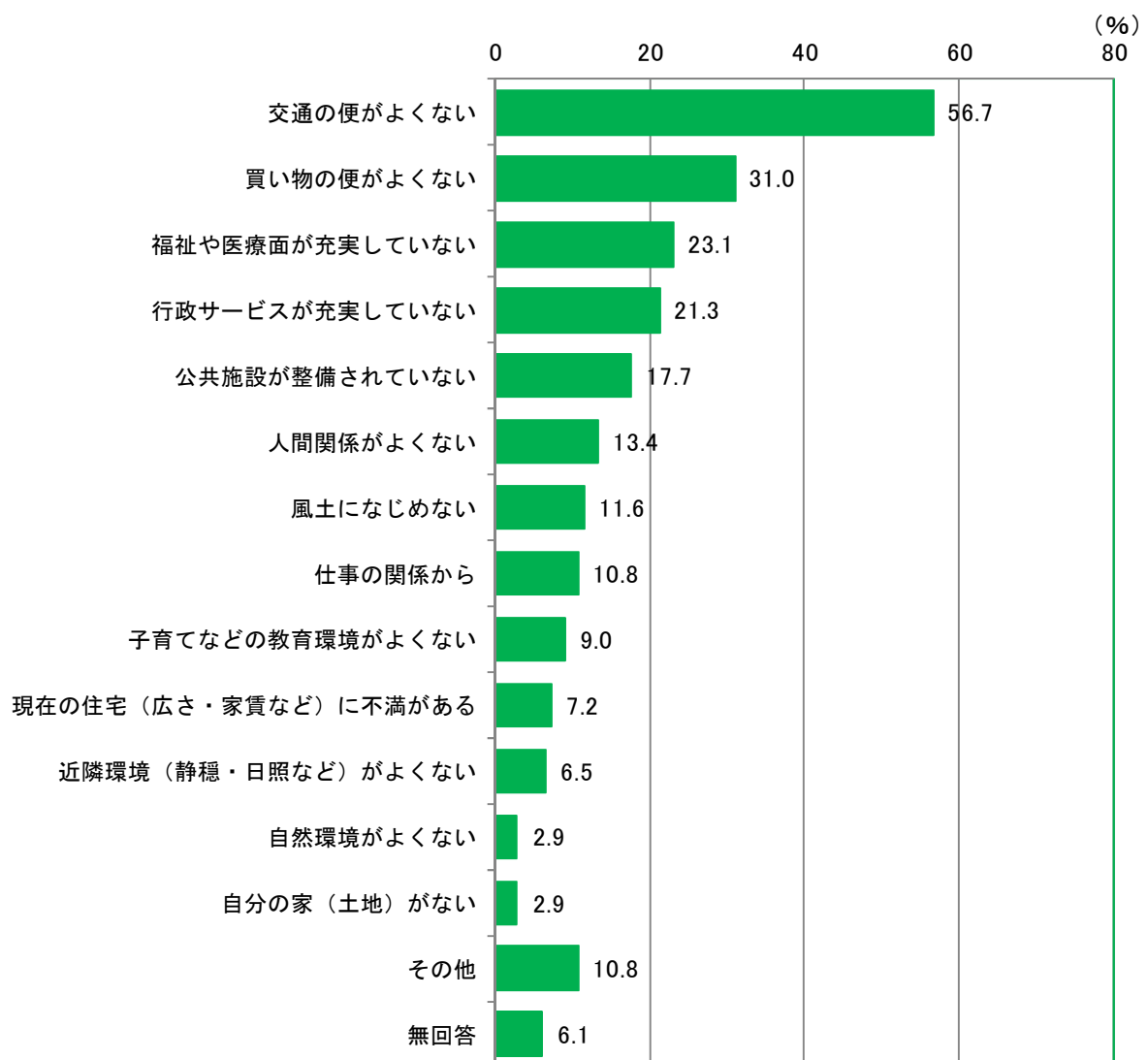
N=795

問 10	(問 8 で「町内の別のところに移りたい」「町外に移りたい」と回答された方に) 今の所から移りたいと思う理由について、選んでください。(○は3つまで)
------	--

今の所から移りたい理由は、「交通の便がよくない」が 57%

- 今の所から移りたい理由は、「交通の便がよくない」が 56.7%で最も高く、次いで「買い物の便がよくない」(31.0%)、「福祉や医療面が充実していない」(23.1%)、「行政サービスが充実していない」(21.3%)、「公共施設が整備されていない」(17.7%)の順で高くなっています。

図表 5 今の所から移りたい理由



N=277

- 年齢別でみると、すべての年齢層で「交通の便がよくない」が最も高くなっていますが、29 歳以下では次いで「仕事の関係から」、70 歳以上では次いで「人間関係がよくない」がそれぞれ高くなっています。また、30～39 歳では「風土になじめない」「子育てなどの教育環境がよくない」が「買い物の便がよくない」に次いで高くなっています。

図表 6 今の所から移りたい理由【年齢別】

(件、%)									
	N	交通の便がよくない	買い物の便がよくない	福祉施設や医療面が充実していない	行政サービスが充実していない	公共施設が整備されていない	人間関係がよくない	風土になじめない	仕事の関係から
全 体	277	56.7	31.0	23.1	21.3	17.7	13.4	11.6	10.8
【年齢別】									
29歳以下	46	43.5	19.6	17.4	15.2	13.0	8.7	10.9	30.4
30～39歳	42	59.5	38.1	19.0	7.1	7.1	14.3	23.8	11.9
40～49歳	52	50.0	23.1	19.2	17.3	13.5	9.6	17.3	7.7
50～59歳	66	63.6	42.4	22.7	22.7	21.2	10.6	7.6	7.6
60～69歳	53	60.4	32.1	37.7	35.8	28.3	15.1	5.7	3.8
70歳以上	18	66.7	22.2	16.7	33.3	22.2	38.9	-	-

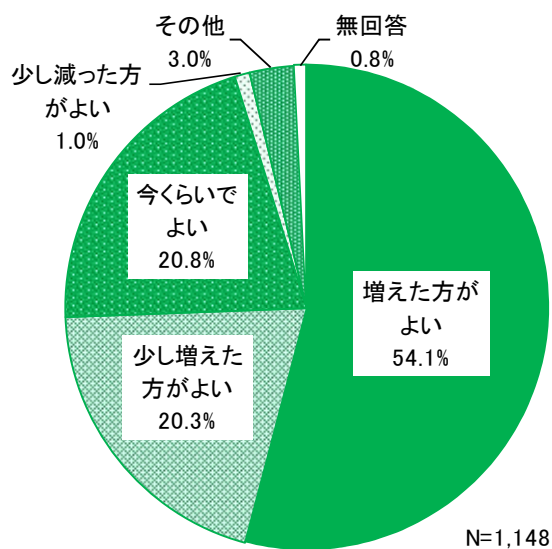
	N	子育てなどのよい環境がある	現在の住宅（広さ・満がなど）	近隣環境（日照など）	自然環境がよい	自分の家（土地）がない	その他	無回答
全 体	277	9.0	7.2	6.5	2.9	2.9	10.8	6.1
【年齢別】								
29歳以下	46	10.9	2.2	2.2	2.2	6.5	13.0	4.3
30～39歳	42	21.4	4.8	4.8	-	4.8	11.9	2.4
40～49歳	52	7.7	9.6	5.8	1.9	-	13.5	13.5
50～59歳	66	7.6	9.1	6.1	1.5	3.0	3.0	6.1
60～69歳	53	1.9	9.4	11.3	3.8	1.9	9.4	3.8
70歳以上	18	5.6	5.6	11.1	16.7	-	27.8	5.6

問 11	あなたは養老町の人口が将来どのようなようになるべきだとお考えですか。 (○は1つ)
------	---

町の将来人口は「増えた方がよい」が 54%

- 町の将来人口については、「増えた方がよい」が 54.1%で最も高く、「少し増えた方がよい」(20.3%) と合わせた『増えた方がよい』は合計 74.4%となっています。一方、「今くらいでよい」は 20.8%、「少し減った方がよい」は 1.0%となっています。

図表 7 町の将来人口についての考え



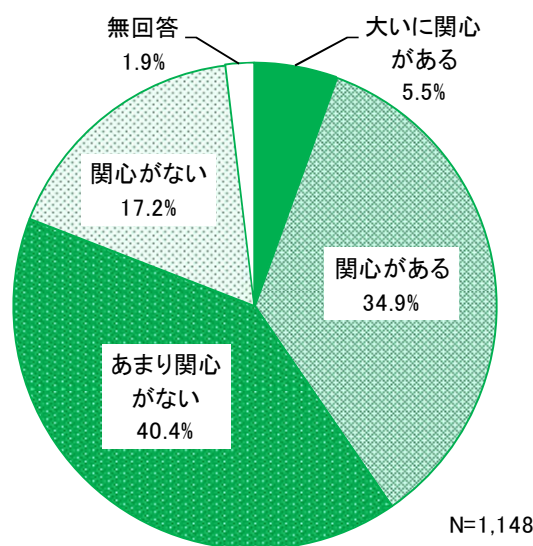
(3) 地域・まちづくり活動について

問 12	あなたは区や自治会、地域自治町民会議、NPO、ボランティア活動などの地域・まちづくり活動に関心がありますか。(○は1つ)
------	--

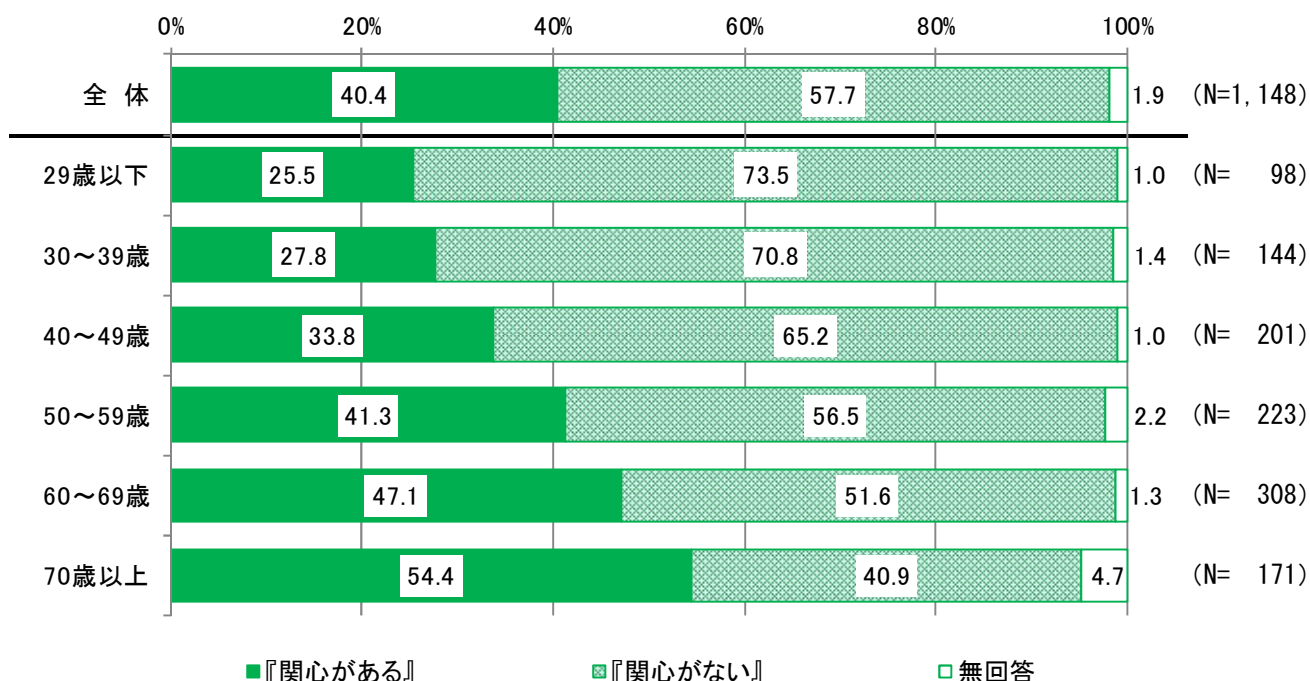
地域・まちづくり活動に関心がない人は 58%、39 歳以下では 70%以上

- 地域・まちづくり活動への関心については、「大いに関心がある」(5.5%)と「関心がある」(34.9%)を合わせた『関心がある』は合計 40.4%、「関心がない」(17.2%)と「あまり関心がない」(40.4%)を合わせた『関心がない』は合計 57.7%となっています。
- 年齢別でみると、『関心がない』は年齢が低いほど割合が高く、29 歳以下で 73.5%、30～39 歳で 70.8%となっています。

図表 8 地域・まちづくり活動に対する関心度



図表 9 地域・まちづくり活動に対する関心度【年齢別】

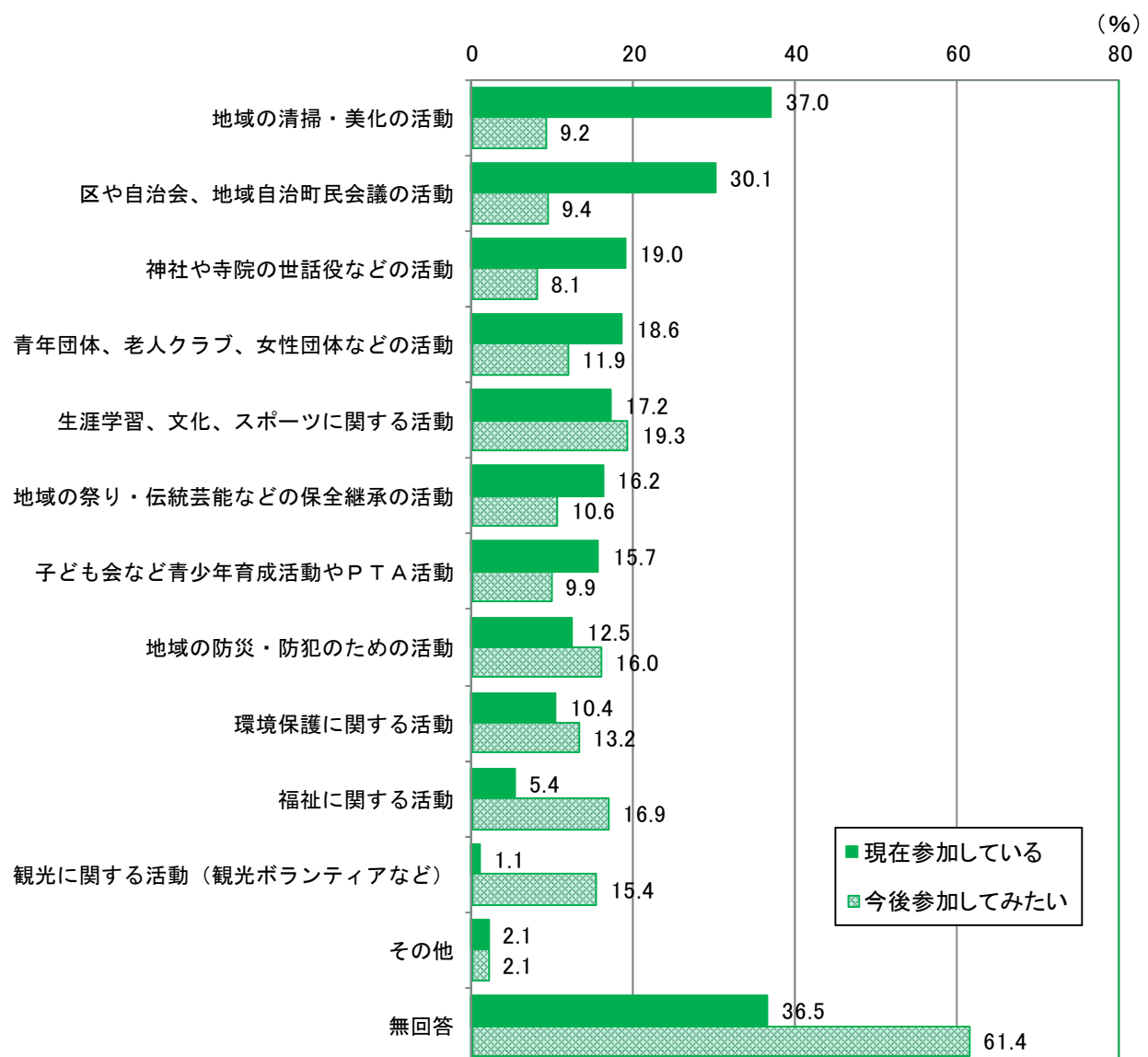


問 13	あなたは現在、地域・まちづくり活動に参加していますか。また今後、参加してみたいですか。
------	---

現在参加している活動は「地域の清掃・美化の活動」が 37%、今後参加したい活動は「生涯学習、文化、スポーツに関する活動」が 19%

- 現在参加している地域・まちづくり活動は、「地域の清掃・美化の活動」(37.0%) が最も高く、次いで「区や自治会、地域自治町民会議の活動」(30.1%)、「神社や寺院の世話役などの活動」(19.0%)、「青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動」(18.6%)、「生涯学習、文化、スポーツに関する活動」(17.2%) の順で高くなっています。
- 一方、今後参加したい活動は、「生涯学習、文化、スポーツに関する活動」(19.3%) が最も高く、次いで「福祉に関する活動」(16.9%)、「地域の防災・防犯のための活動」(16.0%)、「観光に関する活動(観光ボランティアなど)」(15.4%)、「環境保護に関する活動」(13.2%) の順で高くなっています。

図表 10 現在参加している地域・まちづくり活動と、今後参加したい地域・まちづくり活動



N=1,148

- 今後参加したい活動について年齢別でみると、29 歳以下ではすべての項目の割合が全体平均より高く、特に「地域の清掃・美化の活動」(26.5%)、「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」(23.5%)が高くなっています。

図表 11 今後参加したい地域・まちづくり活動【年齢別】

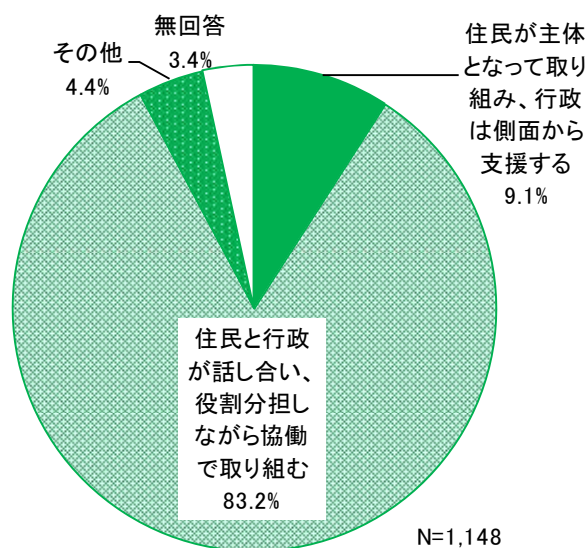
(件、%)													
	N	生涯学習、文化、活動ス	福祉に関する活動	地域の防災・防犯の活動	観光に関する活動	環境保護に関する活動	青年団体、女性団体、老人などの活動	地域の祭りの継承の活動	子ども会やPTA活動	区や自治会、地域の活動	地域の清掃・美化の活動	神社や寺院の世話役などの活動	その他
全 体	1,148	19.3	16.9	16.0	15.4	13.2	11.9	10.6	9.9	9.4	9.2	8.1	2.1
【年齢別】													
29歳以下	98	27.6	27.6	20.4	24.5	24.5	20.4	21.4	23.5	19.4	26.5	17.3	5.1
30～39歳	144	16.7	13.9	17.4	11.8	13.9	13.9	11.8	11.1	11.8	9.7	9.0	2.1
40～49歳	201	18.4	12.4	13.9	13.9	8.5	8.5	8.0	6.0	8.5	8.0	6.5	2.5
50～59歳	223	22.9	14.8	17.9	16.6	13.0	11.2	11.7	8.5	9.9	8.5	8.1	1.3
60～69歳	308	20.5	18.8	14.9	15.3	12.7	13.0	8.8	10.1	7.1	6.8	7.8	2.6
70歳以上	171	11.7	18.1	14.6	14.0	12.9	8.8	8.8	7.6	6.4	5.8	4.7	-

問 14 あなたは、住民と行政の理想的な関係はどれだと思いますか。(○は1つ)

「住民と行政が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む」が 83%

- 住民と行政の理想的な関係については、「住民と行政が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む」が 83.2%で最も高く、「住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する」は 9.1%となっています。

図表 12 住民と行政の理想的な関係



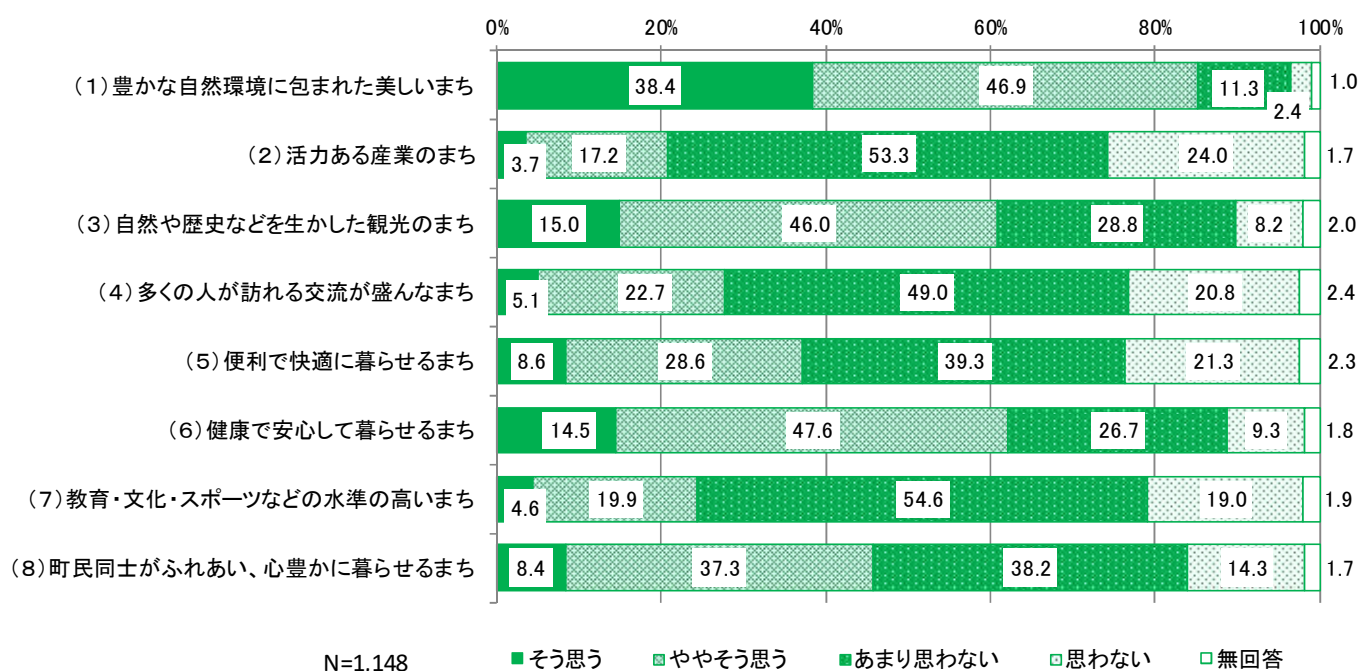
(4) 町のイメージ・将来像について

問 15	養老町のイメージについてご回答ください。(各項目について○は1つ)
------	-----------------------------------

町のイメージで『そう思う』が高いのは「豊かな自然環境に包まれた美しいまち」「健康で安心して暮らせるまち」「自然や歴史などを生かした観光のまち」

- 養老町のイメージとして「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は、「豊かな自然環境に包まれた美しいまち」(85.3%)、「健康で安心して暮らせるまち」(62.1%)、「自然や歴史などを生かした観光のまち」(61.0%)が5割以上となっています。
- 一方、「思わない」と「あまり思わない」を合わせた『思わない』の割合は、「活力ある産業のまち」(77.3%)、「教育・文化・スポーツなどの水準の高いまち」(73.6%)、「多くの人が訪れる交流が盛んなまち」(69.8%)、「便利で快適に暮らせるまち」(60.5%)、「町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち」(52.5%)が5割以上となっています。

図表 13 養老町のイメージ



町のイメージ上位5項目では、男性、女性とも「豊かな自然環境に包まれた美しいまち」が8割以上で最も高い

- 『そう思う』の割合について性・年齢別でみると、すべての性・年齢で「豊かな自然環境に包まれた美しいまち」が最も高くなっています。2位は、男性49歳以下及び男性・女性60歳以上では「健康で安心して暮らせるまち」、男性50～59歳及び女性59歳以下では「自然や歴史などを生かした観光のまち」となっており、この2項目がすべての性・年齢で2位・3位を占めています。

図表 14 性・年齢別「町のイメージ」の上位5項目

(割合は「そう思う」+「ややそう思う」)

	上位5項目				
全体	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=1,148	85.3%	62.1%	61.0%	45.7%	37.2%

	男性：上位5項目				
男性/全体	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=528	86.2%	66.1%	61.7%	46.4%	43.9%
29歳以下	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=44	88.6%	68.2%	65.9%	50.0%	34.1%
30～39歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=60	85.0%	60.0%	53.3%	45.0%	41.7%
40～49歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	便利で快適に暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち
N=87	82.8%	73.6%	65.5%	43.7%	42.5%
50～59歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	健康で安心して暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=102	84.3%	66.7%	63.7%	43.1%	41.2%
60～69歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=150	87.3%	61.3%	58.0%	48.0%	44.0%
70歳以上	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	便利で快適に暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち
N=84	89.3%	72.6%	61.9%	54.8%	51.2%

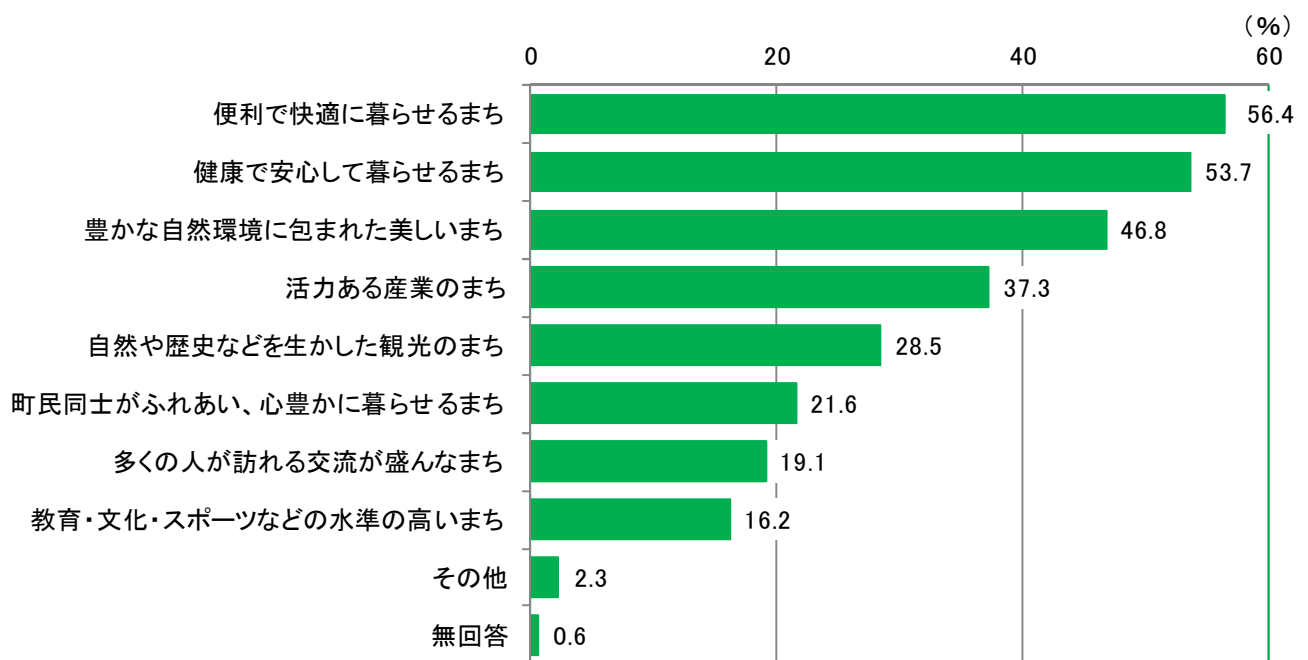
	女性：上位 5 項目				
女性/全体	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	健康で安心して暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=617	84.6%	60.3%	58.7%	45.1%	31.4%
29 歳以下	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	健康で安心して暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=54	77.8%	72.2%	57.4%	55.6%	35.2%
30～39 歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	健康で安心して暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=84	86.9%	67.9%	51.2%	47.6%	28.6%
40～49 歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	健康で安心して暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	多くの人が訪れる交流が盛んなまち
N=114	86.0%	58.8%	55.3%	36.8%	28.1%
50～59 歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	健康で安心して暮らせるまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=121	85.1%	60.3%	57.9%	44.6%	30.6%
60～69 歳	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=157	85.4%	61.1%	56.7%	45.9%	36.3%
70 歳以上	豊かな自然環境に包まれた美しいまち	健康で安心して暮らせるまち	自然や歴史などを生かした観光のまち	町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	便利で快適に暮らせるまち
N=86	83.7%	68.6%	54.7%	46.5%	44.2%

問 16	あなたが望む養老町の将来像はどれですか。(○は3つまで)
------	------------------------------

希望する町の将来像は「便利で快適に暮らせるまち」「健康で安心して暮らせるまち」「豊かな自然環境に包まれた美しいまち」

- 希望する養老町の将来像は、「便利で快適に暮らせるまち」が 56.4%で最も高く、次いで「健康で安心して暮らせるまち」(53.7%)、「豊かな自然環境に包まれた美しいまち」(46.8%)、「活力ある産業のまち」(37.3%)、「自然や歴史などを生かした観光のまち」(28.5%) の順で高くなっています。

図表 15 希望する養老町の将来像



N=1,148

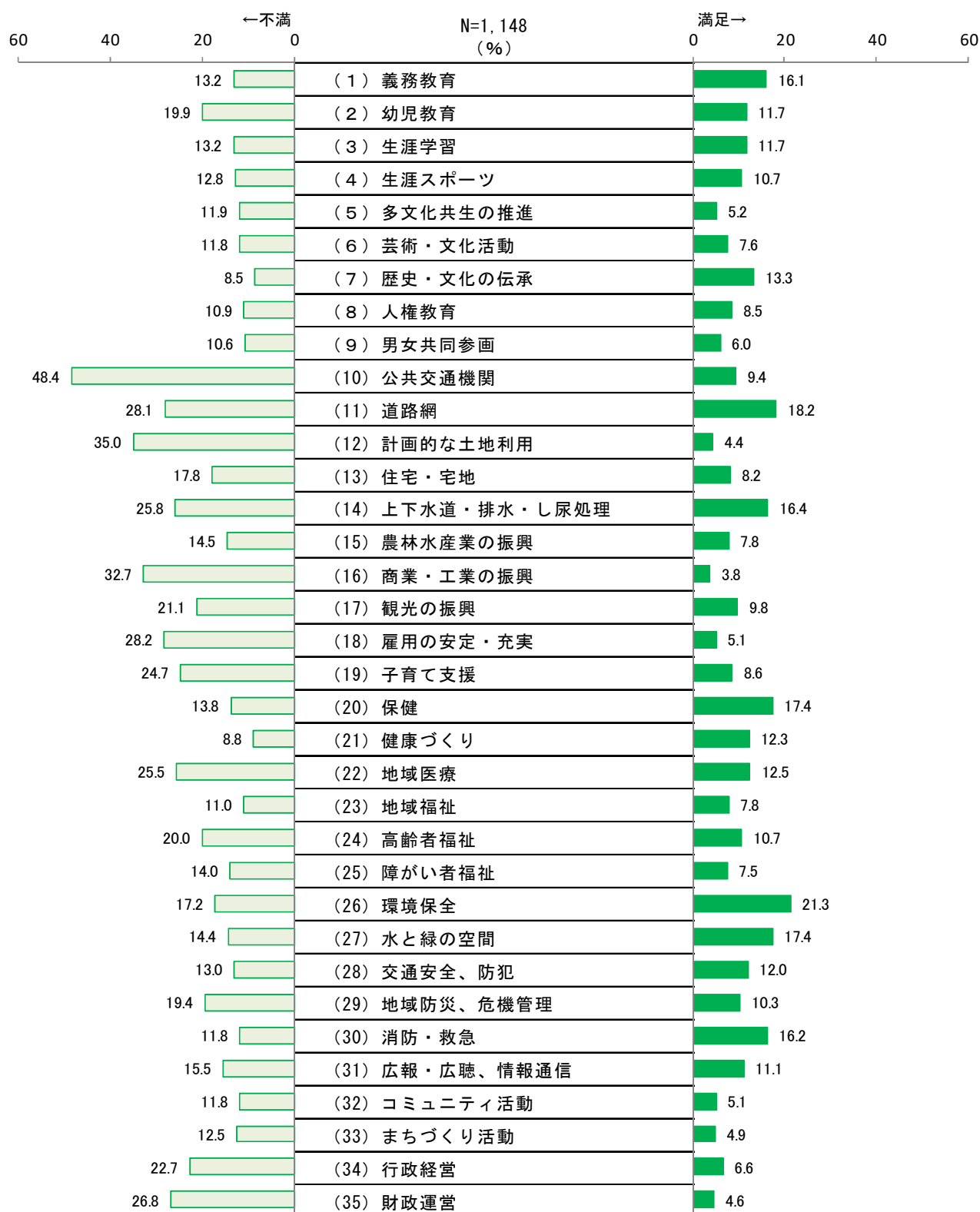
(5) 施策の満足度・重要度について

問 17	以下の各施策について、「現状の満足度」と「今後の重要度」を回答してください。(各項目について○は1つ)
------	---

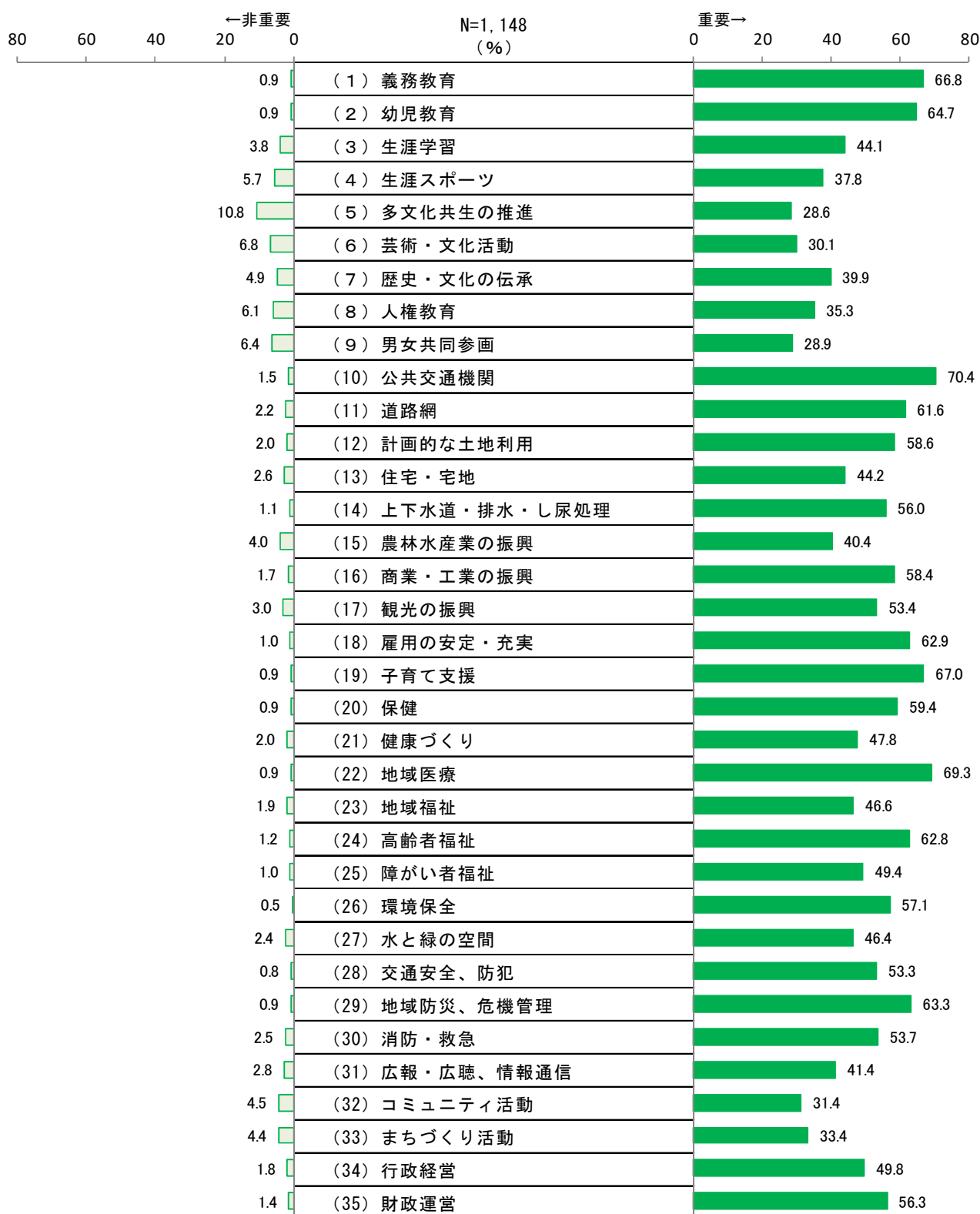
『満足』度の高い施策は「環境保全」「道路網」「保健」「水と緑の空間」、『不満』度の高い施策は「公共交通機関」「計画的な土地利用」「商業・工業の振興」、『重要』度の高い施策は「公共交通機関」「地域医療」「子育て支援」

- 「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』の割合をみると、「環境保全」が21.3%で最も高く、次いで「道路網」(18.2%)、「保健」「水と緑の空間」(ともに17.4%)、「上下水道・排水・し尿処理」(16.4%)の順で高くなっています。
- 一方、「不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満』の割合をみると、「公共交通機関」が48.4%で最も高く、次いで「計画的な土地利用」(35.0%)、「商業・工業の振興」(32.7%)、「雇用の安定・充実」(28.2%)、「道路網」(28.1%)の順で高くなっています。
- 「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要』の割合をみると、「公共交通機関」が70.4%で最も高く、次いで「地域医療」(69.3%)、「子育て支援」(67.0%)、「義務教育」(66.8%)、「幼児教育」(64.7%)の順で高くなっています。
- 35項目のうち18項目は、半数以上の人が『重要』と回答しています。

図表 16 施策の現状の満足度



図表 17 施策の今後の重要度

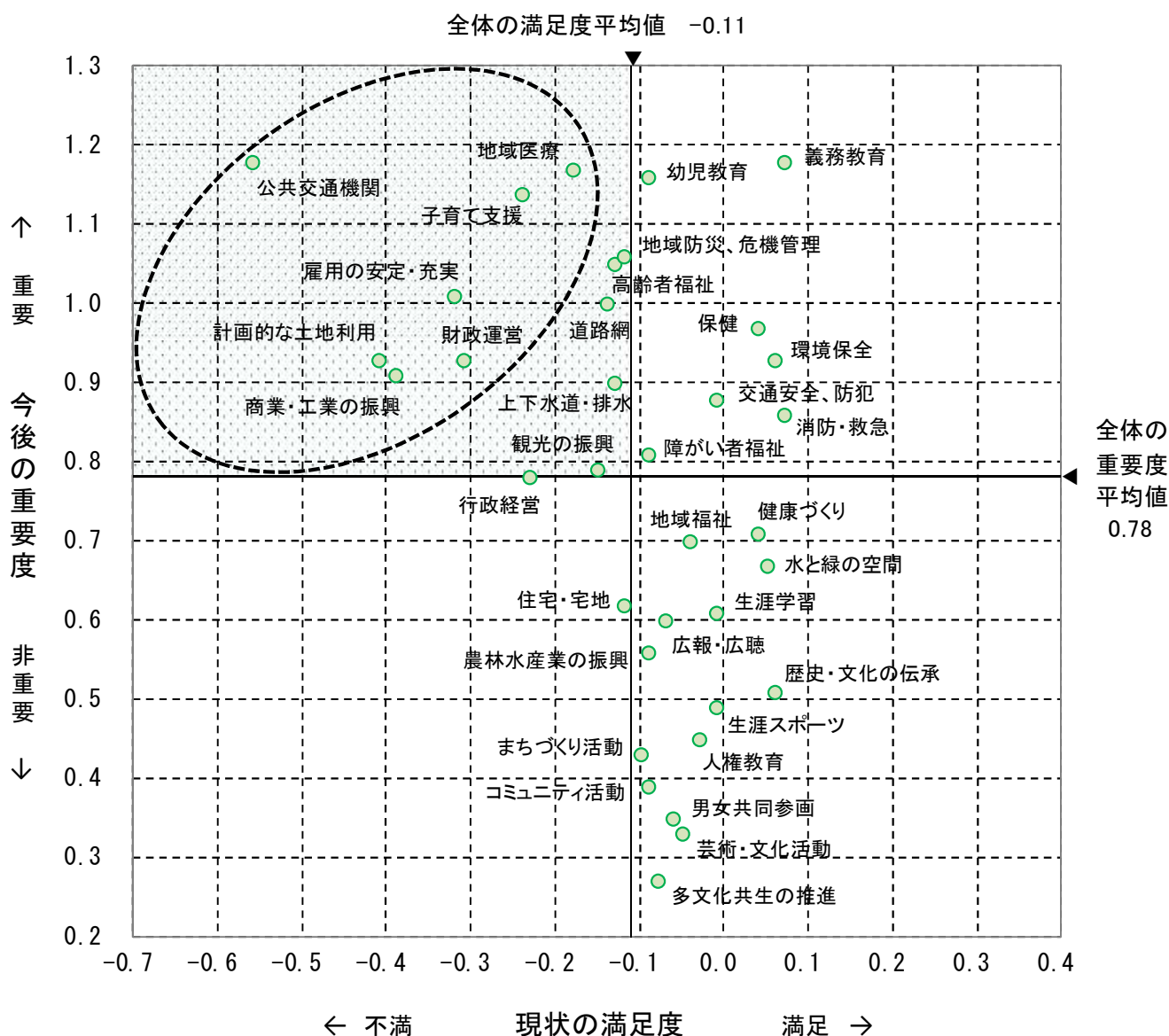


「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計を『非重要』と表しています。

町の施策のうち、満足度が低くかつ重要度が高いものは、「公共交通機関」「子育て支援」「地域医療」「雇用の安定・充実」「計画的な土地利用」「商業・工業の振興」など

- 町の施策 35 項目に対する評価について、「満足している」を＋2 点、「やや満足している」を＋1 点、「ふつう」を 0 点、「やや不満である」を－1 点、「不満である」を－2 点として計算すると、満足度は-0.56 から 0.07 の間に分散しており、平均値は-0.11 になります。
- 同様に、「重要である」を＋2 点、「やや重要である」を＋1 点、「ふつう」を 0 点、「あまり重要ではない」を－1 点、「重要ではない」を－2 点として計算すると、重要度は 0.27 から 1.18 の間に分散しており、平均値は 0.78 になります。
- 満足度を横軸、重要度を縦軸として施策の分布図を示すと、満足度が低くかつ重要度が高い領域（図の左上の網掛け部分）にある項目が、特に今後重点的に取り組むべき施策であることを示しています。今回の調査結果では、「公共交通機関」「子育て支援」「地域医療」「雇用の安定・充実」「計画的な土地利用」「商業・工業の振興」「財政運営」などが該当しています。

図表 18 施策の満足度・重要度の分布図



町の施策についてのニーズ得点が最も高いのは「公共交通機関」

- 「ニーズ得点」は、満足度が低く重要度が高いほど高得点となる指標です。ニーズ得点が高い施策ほど、今後優先的に取り組む必要があることを示しています。
- 今回の調査結果では、ニーズ得点は「公共交通機関」が 15.12 ポイントで最も高く、次いで「計画的な土地利用」が 13.59 ポイントで続いています。

ニーズ得点の求め方

ニーズ得点は、下の計算式により算出されるサンプル毎の得点の全体平均であり、町民の満足度が低くかつ重要度が高いほど得点が高くなる指標です。

下表のように得点設定をし、25 点（5 点× 5 点）を満点として、算出しました。

満足度得点		重要度得点	
不満である	(5 点)	重要である	(5 点)
やや不満である	(4 点)	やや重要である	(4 点)
ふつう	(3 点)	ふつう	(3 点)
やや満足している	(2 点)	あまり重要ではない	(2 点)
満足している	(1 点)	重要ではない	(1 点)

[計算式]

$$\text{ニーズ得点} = \text{満足度得点} \times \text{重要度得点}$$

図表 19 施策のニーズ得点



ニーズ得点は、男女ともに「公共交通機関」が最も高く、次いで男性は「商業・工業の振興」、女性は「地域医療」が高い。男性の40～49歳では「子育て支援」が最も高い。

- ニーズ得点を性別でみると、男女ともに「公共交通機関」が最も高くなっています。次いで、男性では「商業・工業の振興」、女性では「地域医療」が高くなっています。
- 性・年齢別でみると、男性の40～49歳で「子育て支援」が最も高くなっています。また、女性の49歳以下では「公共交通機関」に次いで「子育て支援」と「地域医療」が高くなっています。

図表 20 性・年齢別「ニーズ得点」の上位5項目

	上位5項目				
全体	公共交通機関	計画的な土地利用	商業・工業の振興	子育て支援	雇用の安定・充実
N=1,148	15.12	13.59	13.54	13.52	13.49

	男性：上位5項目				
男性/全体	公共交通機関	商業・工業の振興	計画的な土地利用	子育て支援	雇用の安定・充実
N=528	14.80	13.69	13.87	13.81	13.50
29歳以下	公共交通機関	雇用の安定・充実	子育て支援	道路網	計画的な土地利用
N=44	14.69	14.29	13.95	13.76	13.51
30～39歳	公共交通機関	子育て支援	計画的な土地利用	商業・工業の振興	幼児教育
N=60	16.37	15.25	14.25	14.18	13.67
40～49歳	子育て支援	公共交通機関	雇用の安定・充実	計画的な土地利用	商業・工業の振興
N=87	14.80	14.18	14.16	14.06	13.95
50～59歳	公共交通機関	道路網	子育て支援	商業・工業の振興	雇用の安定・充実
N=102	15.35	13.86	13.85	13.78	13.53
60～69歳	公共交通機関	商業・工業の振興	計画的な土地利用	財政運営	雇用の安定・充実
N=150	14.42	14.35	14.28	13.74	13.70
70歳以上	公共交通機関	商業・工業の振興	財政運営	計画的な土地利用	観光の振興
N=84	14.26	13.82	13.62	13.56	12.55

	女性：上位5項目				
女性/全体	公共交通機関	地域医療	雇用の安定・充実	計画的な土地利用	子育て支援
N=617	15.40	13.61	13.49	13.34	13.25
29歳以下	公共交通機関	子育て支援	地域医療	雇用の安定・充実	道路網
N=54	15.35	13.28	12.98	12.36	12.16
30～39歳	公共交通機関	子育て支援	地域医療	幼児教育	雇用の安定・充実
N=84	15.39	13.99	13.76	13.62	13.56
40～49歳	公共交通機関	地域医療	子育て支援	財政運営	雇用の安定・充実
N=114	16.21	14.72	14.31	13.76	13.61
50～59歳	公共交通機関	計画的な土地利用	高齢者福祉	雇用の安定・充実	幼児教育
N=121	15.29	13.79	13.68	13.48	13.41
60～69歳	公共交通機関	商業・工業の振興	雇用の安定・充実	計画的な土地利用	地域医療
N=157	15.49	14.02	13.99	13.81	13.61
70歳以上	商業・工業の振興	公共交通機関	高齢者福祉	雇用の安定・充実	地域医療
N=86	14.25	14.20	12.96	12.95	12.58

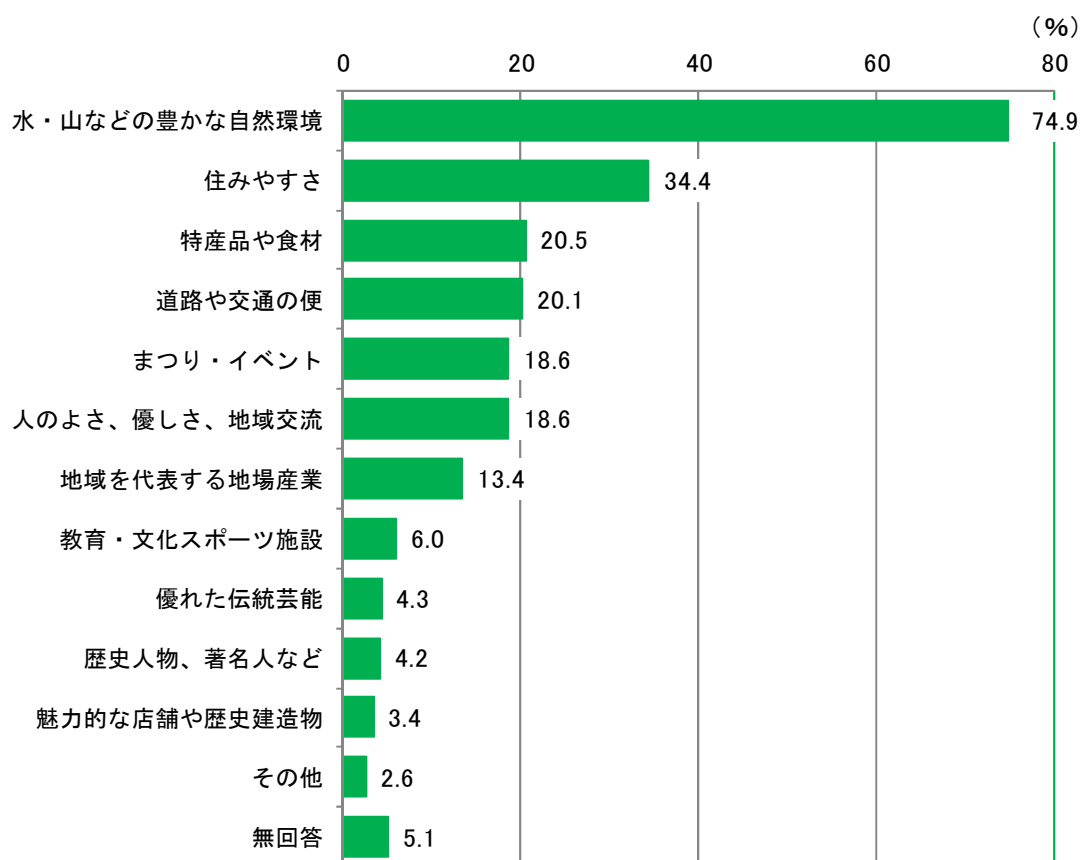
(6) 町の魅力や地域資源について

問 18	あなたは、養老町にどんな魅力があると思いますか。(〇は3つまで)
------	----------------------------------

町の魅力であると最も思うものは「水・山などの豊かな自然環境」、年齢が低いほど「まつり・イベント」の割合が高い

- 養老町の魅力であると思うものは、「水・山などの豊かな自然環境」が 74.9% で最も高く、次いで「住みやすさ」(34.4%)、「特産品や食材」(20.5%)、「道路や交通の便」(20.1%)、「まつり・イベント」「人のよさ、優しさ、地域交流」(ともに 18.6%) の順で高くなっています。
- 年齢別でみると、すべての年齢で「水・山などの豊かな自然環境」が最も高くなっています。「まつり・イベント」は年齢が低いほど割合が高く、29 歳以下で 32.7% となっています。一方、「住みやすさ」「道路や交通の便」は概ね年齢が高いほど割合が高く、70 歳以上では「住みやすさ」が 45.0%、「道路や交通の便」が 32.2% となっています。

図表 21 養老町の魅力



N=1,148

図表 22 養老町の魅力【年齢別】

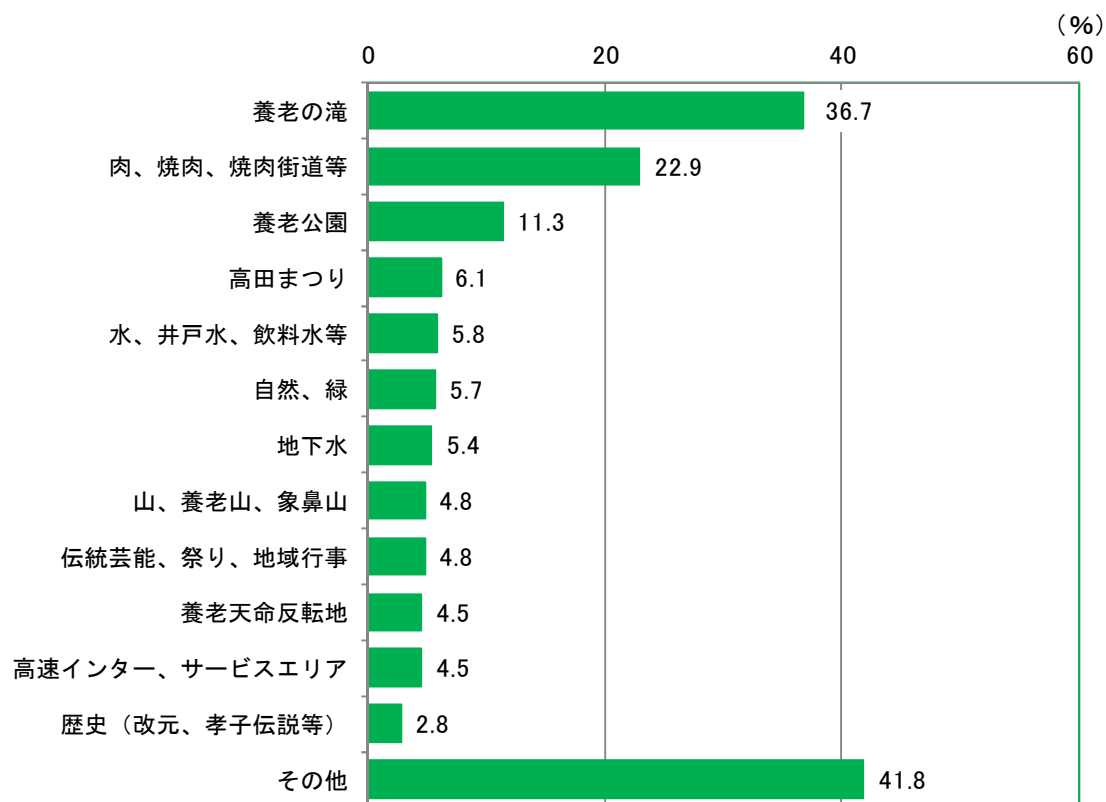
(件、%)															
	N	水・山などの豊かな自然環境	住みやすさ	特産品や食材	道路や交通の便	まつり・イベント	人のよさ、優しさ、地域交流	地域産業	地域を代表する	教育・文化スポーツ施設	優れた伝統芸能	歴史人物、著名人など	魅力的な店舗や歴史建造物	その他	無回答
全 体	1,148	74.9	34.4	20.5	20.1	18.6	18.6	13.4	6.0	4.3	4.2	3.4	2.6	5.1	
【年齢別】															
29歳以下	98	78.6	21.4	22.4	9.2	32.7	23.5	12.2	7.1	2.0	7.1	10.2	3.1	-	
30～39歳	144	74.3	32.6	25.0	13.2	23.6	16.0	13.9	0.7	5.6	4.9	4.2	3.5	3.5	
40～49歳	201	67.7	30.8	29.9	13.9	20.9	14.4	17.9	4.5	3.5	6.0	2.5	3.5	4.0	
50～59歳	223	72.2	30.9	22.9	17.9	18.4	13.0	9.4	4.0	3.1	2.7	1.8	3.6	6.3	
60～69歳	308	79.9	38.3	15.3	25.3	14.6	20.8	13.0	7.1	5.2	3.2	4.2	1.6	6.2	
70歳以上	171	76.6	45.0	10.5	32.2	11.1	26.3	13.5	12.3	5.3	3.5	0.6	1.2	7.0	

問 19	あなたが、養老町以外の方に自慢できる地域資源（自然、歴史、文化、産業など）は、具体的に何があると思いますか。（4つまで自由記述）
------	--

町外に自慢できる地域資源は「養老の滝」「肉、焼肉」「養老公園」

- 養老町以外の人に自慢できる地域資源としては、「養老の滝」（36.7%）が最も高く、次いで「肉、焼肉、焼肉街道等」（22.9%）、「養老公園」（11.3%）、「高田まつり」（6.1%）、「水、井戸水、飲料水等」（5.8%）の順で高くなっています。

図表 23 町外に自慢できる地域資源



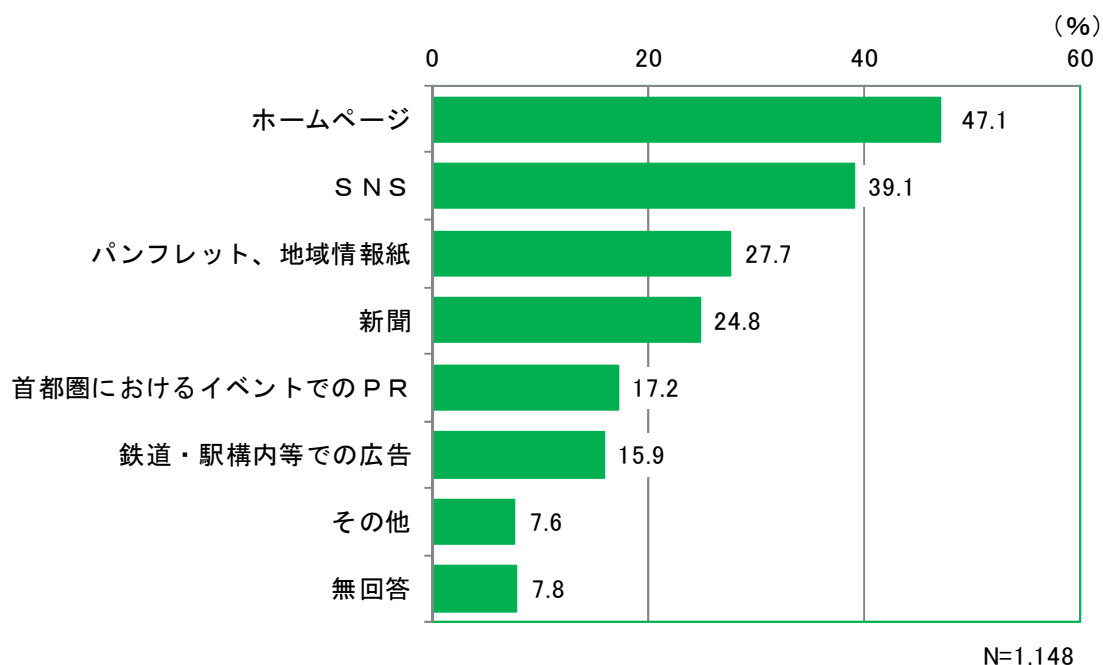
N=1,148

問 20	養老町の魅力や地域資源を、養老町外の方に発信していくために、有効と思われるものを選んでください。(〇はいくつでも)
------	---

町の魅力等を町外に発信するために有効な物は「ホームページ」「SNS」

- 養老町の魅力や地域資源を町外に発信していくために有効であると思うものは、「ホームページ」が47.1%で最も高く、次いで「SNS」(39.1%)、「パンフレット、地域情報紙」(27.7%)、「新聞」(24.8%)、「首都圏におけるイベントでのPR」(17.2%)の順で高くなっています。
- 年齢別でみると、「SNS」は年齢が低いほど割合が高く、29歳以下で71.4%、30～39歳で63.2%となっており、49歳以下の年齢層では「ホームページ」を上回り最も高くなっています。50歳以上の年齢層では「ホームページ」が最も高くなっています。

図表 24 養老町の魅力等を町外に発信するために有効な物



図表 25 養老町の魅力等を町外に発信するために有効な物【年齢別】

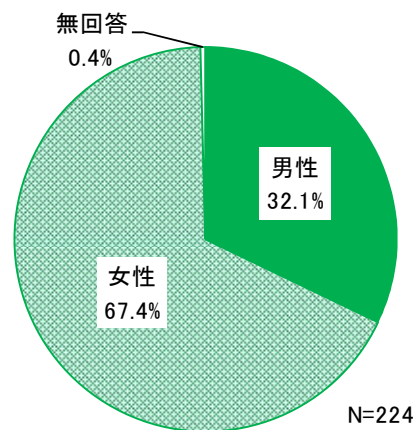
	N	ホームページ	SNS	パンフレット、地域情報紙	新聞	首都圏におけるイベントでのPR	鉄道の広告・駅構内等	その他	無回答
全体	1,148	47.1	39.1	27.7	24.8	17.2	15.9	7.6	7.8
【年齢別】									
29歳以下	98	53.1	71.4	22.4	14.3	13.3	17.3	6.1	2.0
30～39歳	144	47.9	63.2	36.1	13.2	14.6	15.3	5.6	4.9
40～49歳	201	46.3	47.8	29.9	26.9	20.9	17.9	11.4	5.5
50～59歳	223	52.0	35.0	27.8	28.7	17.5	16.6	9.0	6.7
60～69歳	308	45.5	26.0	22.4	28.9	17.5	14.6	6.5	10.1
70歳以上	171	40.9	19.3	30.4	25.7	16.4	14.0	5.8	13.5

3. 高校生アンケートの調査結果

(1) 回答者の属性

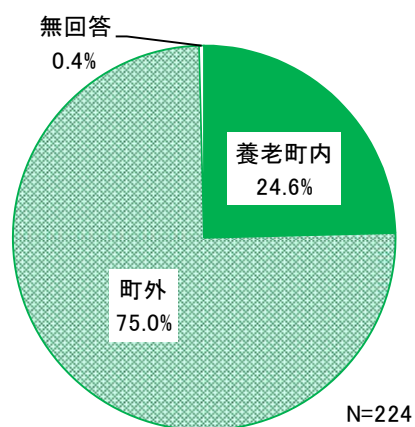
【性別】

回答者の性別は、男性が 32.1%、女性が 67.4%となっています。



【居住地】

居住地は、「養老町内」が 24.6%、「町外」が 75.0%となっています。



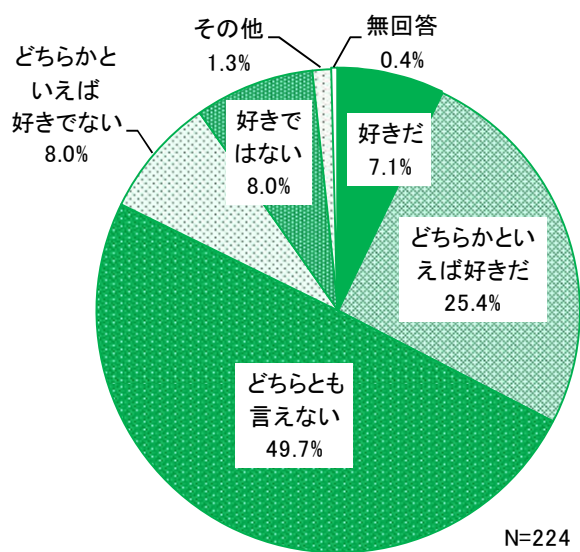
(2) 町の印象やイメージなどについて

問 3	あなたは養老町のことが好きですか。(○は1つ)
-----	-------------------------

町のことが好きな生徒は 33%、好きではない生徒は 16%

- 養老町については、「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた『好き』は合計 32.6%、「好きではない」と「どちらかといえば好きではない」を合わせた『好きではない』は合計 16.1%、「どちらとも言えない」は 49.7%となっています。

図表 26 養老町に対する好意

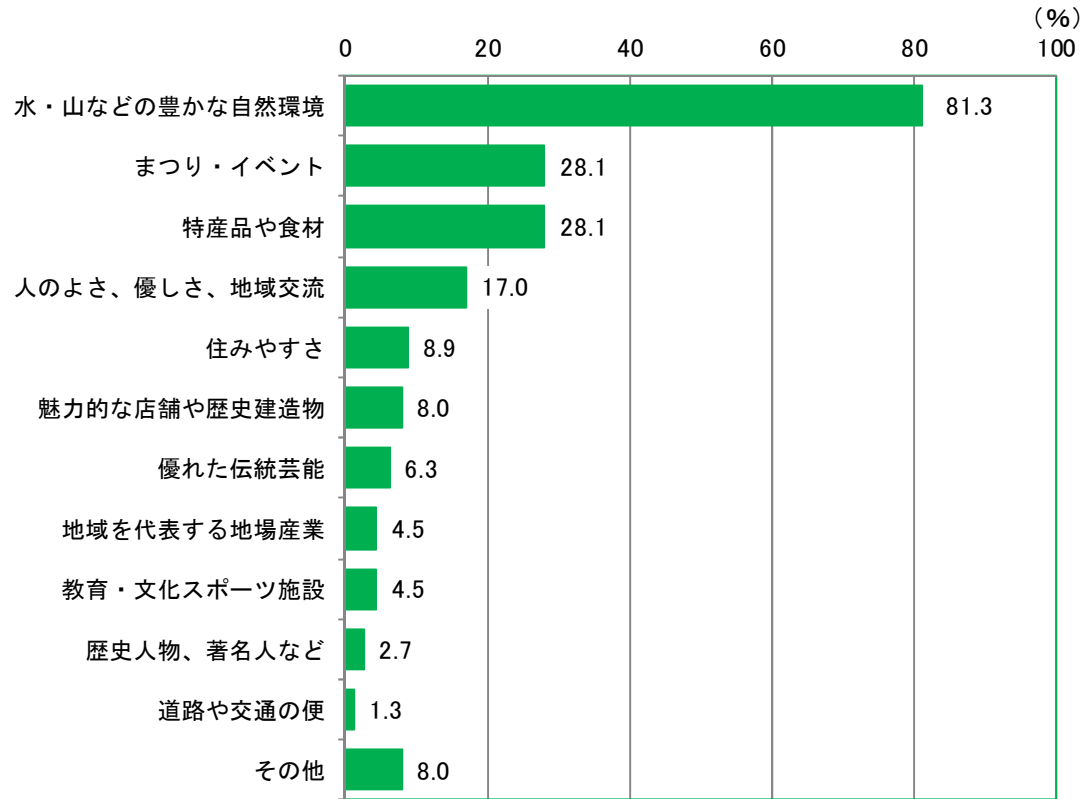


問 4	養老町の魅力は何だとおもいますか。(〇は3つまで)
-----	---------------------------

町の魅力であると最も思うものは「水・山などの豊かな自然環境」

- 養老町の魅力であると思うものは、「水・山などの豊かな自然環境」が 81.3%で最も高く、次いで「まつり・イベント」「特産品や食材」(ともに 28.1%)、「人のよさ、優しさ、地域交流」(17.0%)、「住みやすさ」(8.9%) の順で高くなっています。

図表 27 養老町の魅力



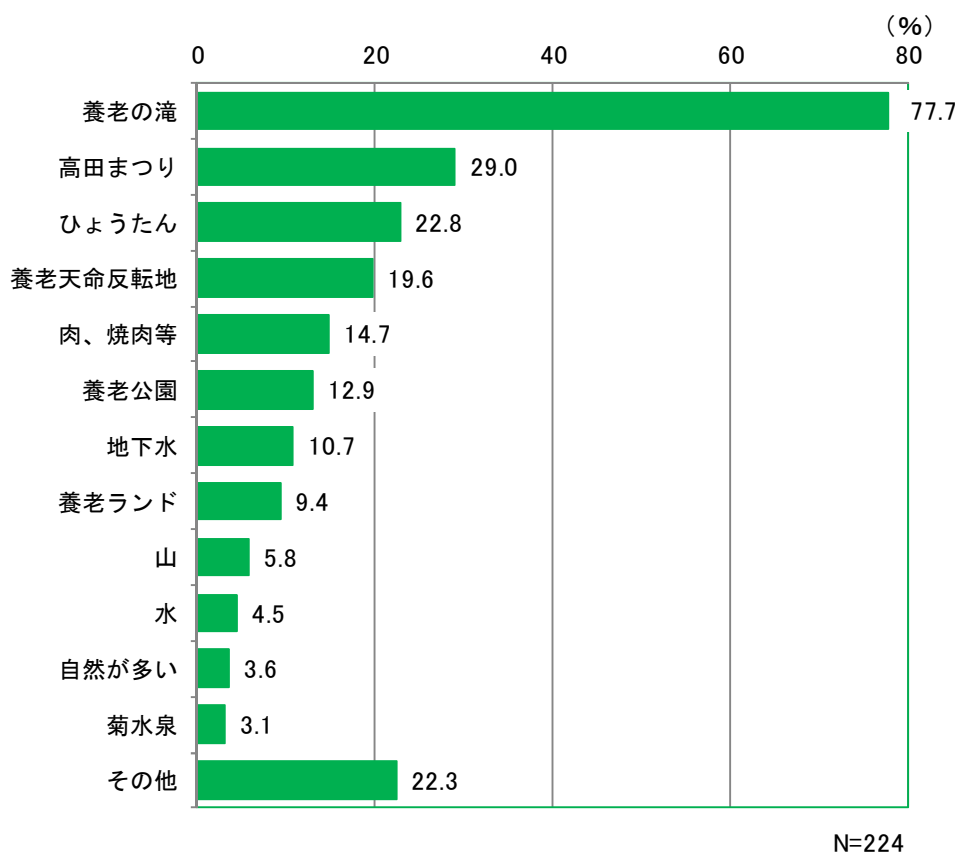
N=224

問 5	養老町の自慢できる地域資源（自然、歴史、文化、産業など）は、具体的に何があると思いますか。（4つまで自由記述）
-----	---

町の自慢できる地域資源は「養老の滝」「高田まつり」「ひょうたん」「養老天命反転地」

- 養老町の自慢できる地域資源としては、「養老の滝」（77.7%）が最も高く、次いで「高田まつり」（29.0%）、「ひょうたん」（22.8%）、「養老天命反転地」（19.6%）、「肉、焼肉等」（14.7%）の順で高くなっています。

図表 28 町の自慢できる地域資源

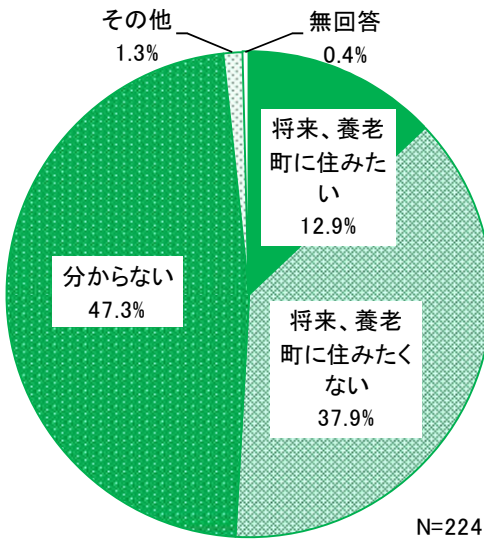


問 6	あなたは、将来、養老町に住みたいと思いますか。(○は1つ)
-----	-------------------------------

将来、町に住みたい生徒は 13%、町に住みたくない生徒は 38%

- 将来の養老町への居住意向については、「分からない」が 47.3%で最も高く、次いで「将来、養老町に住みたくない」が 37.9%、「将来、養老町に住みたい」が 12.9%となっています。

図表 29 将来の養老町への居住意向

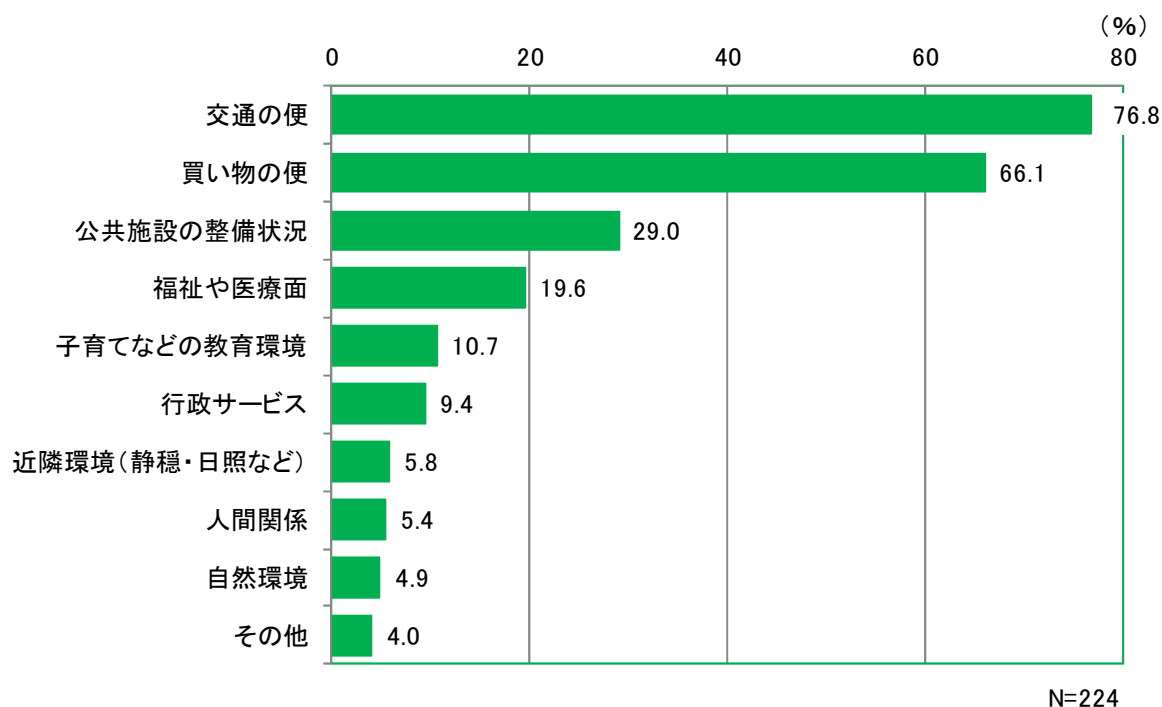


問 7	あなたが将来、養老町に住むことになったら、不満や不便に感じるものは何だと思いますか。(〇は3つまで)
-----	--

将来、町に住む場合に不満や不便に感じる物は「交通の便」「買い物の便」

- 将来、養老町に住む場合に不満や不便に感じる物は、「交通の便」が 76.8%で最も高く、次いで「買い物の便」(66.1%)、「公共施設の整備状況」(29.0%)、「福祉や医療面」(19.6%)、「子育てなどの教育環境」(10.7%)の順で高くなっています。

図表 30 将来、養老町に住む場合に不満や不便に感じる物



4. 使用調査票

養老町まちづくりアンケート

～まちの未来をみんなで考えよう～

アンケート調査ご協力のお願い

日頃より町政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

養老町では、《誇りと愛着が持てる 絆を大切にするまち 養老》を将来像に掲げ、「養老町第五回総合計画（絆プラン）」（計画期間：平成23年度～32年度）に基づくまちづくりを進めています。

こうした中、平成32年度で第五回総合計画が終了することから、引き続き、長期的な視点に立ち、町政運営を総合的かつ計画的に進めていくため、「（仮称）養老町まちづくりビジョン（第六回総合計画）」を策定することとなりました。

このアンケートは、町民の皆様のお考えやご意向をお聞きし、養老町の未来をみんなで考え、まちづくりビジョンに反映するために実施するものです。

この調査は、無記名でお答えいただき、回答結果は統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年11月

養老町長 大 橋 孝

<ご記入にあたって>

1. アンケートの対象者

- このアンケートは、満18歳以上の町民の皆様2,000名を無作為に抽出して実施しています。封筒の宛名のご本人が対象者ですが、対象者が回答できない場合には、ご家族の中で代理の方が回答してもかまいません。

2. 回答方法

- 選択式の設問は、該当する番号に☒してください。
- 記述式の設問は、あなたの考えを簡略にまとめ、回答欄に記入してください。

3. 締め切りと回収方法

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、11月30日（金）までに投函ください。（切手を貼る必要はありません。）

4. お問い合わせ

- 養老町役場 総務部企画政策課 まちづくり企画係
TEL：（0584）32-1102（内線217）
FAX：（0584）32-2686

1 あなたのことについてお伺いします。(問1～問7)

(問1) あなたの性別は？

☐ ① 男性	☐ ② 女性
-------------------------------	-------------------------------

(問2) あなたの年齢は？

☐ ① 29歳以下	☐ ② 30～39歳	☐ ③ 40～49歳
☐ ④ 50～59歳	☐ ⑤ 60～69歳	☐ ⑥ 70歳以上

(問3) あなたの職業は？

☐ ① 会社員	☐ ② 公務員	☐ ③ 自営業	☐ ④ 学生
☐ ⑤ パート・アルバイト	☐ ⑥ その他()		☐ ⑦ 家事専業・無職

【問3で、①～⑥を回答された方のみお答えください。】

(問4) あなたの勤務(自営)地は？

☐ ① 養老町内	☐ ② 養老町周辺(西濃地域)
☐ ③ 岐阜県内	☐ ④ 愛知県内
☐ ⑤ その他	

(問5) あなたの居住地区は？

☐ ① 高田地区	☐ ② 養老地区	☐ ③ 広幡地区
☐ ④ 上多度地区	☐ ⑤ 池辺地区	☐ ⑥ 笠郷地区
☐ ⑦ 小畑地区	☐ ⑧ 多芸地区	☐ ⑨ 日吉地区
☐ ⑩ 室原地区		

(問6) 養老町での居住年数は？

☐ ① 1年未満	☐ ② 1年以上 5年未満	☐ ③ 5年以上 10年未満	☐ ④ 10年以上 20年未満	☐ ⑤ 20年以上
---------------------------------	---	--	---	----------------------------------

(問7) あなたがお住まいとして養老町を選んだ理由は何ですか？

☐ ① 生まれたときから養老町に住んでいる	☐ ② 自身の就学のため
☐ ③ 仕事の都合のため	☐ ④ 結婚のため
☐ ⑤ 住宅の都合のため	☐ ⑥ 養老町に住みたいと感じたため
☐ ⑦ 家族の都合のため	☐ ⑧ その他()

2 養老町の住みやすさについてお伺いします。(問8～問11)

(問8) あなたは、養老町に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

☐ ① 今の所に住み続けたい	☐ ② 町内の別のところに移りたい
☐ ③ 町外に移りたい	☐ ④ その他()

【問8で、①を回答された方のみお答えください。】

(問9) 今の所に住み続けたいと思う理由について、次の中から3つまで選んでください。

☐ ① 自然環境がよい	☐ ② 永年住み慣れている
☐ ③ 人間関係がよい	☐ ④ 子育てなどの教育環境がよい
☐ ⑤ 仕事の関係から	☐ ⑥ 近隣環境(静穏・日照など)がよい
☐ ⑦ 現在の住宅(広さ・家賃など)に満足している	☐ ⑧ 自分の家(土地)がある
☐ ⑨ 交通の便がよい	☐ ⑩ 買い物の便がよい
☐ ⑪ 福祉や医療面が充実している	☐ ⑫ 行政サービスが充実している
☐ ⑬ 公共施設が整っている	☐ ⑭ その他()

【問8で、②または③を回答された方のみお答えください。】

(問10) 今の所から移りたいと思う理由について、次の中から3つまで選んでください。

☐ ① 自然環境がよくない	☐ ② 風土になじめない
☐ ③ 人間関係がよくない	☐ ④ 子育てなどの教育環境がよくない
☐ ⑤ 仕事の関係から	☐ ⑥ 近隣環境(静穏・日照など)がよくない
☐ ⑦ 現在の住宅(広さ・家賃など)に不満がある	☐ ⑧ 自分の家(土地)がない
☐ ⑨ 交通の便がよくない	☐ ⑩ 買い物の便がよくない
☐ ⑪ 福祉や医療面が充実していない	☐ ⑫ 行政サービスが充実していない
☐ ⑬ 公共施設が整備されていない	☐ ⑭ その他()

(問11) あなたは養老町の人口が将来どのようなようになるべきだとお考えですか。

次の中から1つ選んでください。

(参考) 平成27年国勢調査結果による養老町の人口：29,029人

☐ ① 増えた方がよい	☐ ② 少し増えた方がよい
☐ ③ 今くらいでよい	☐ ④ 少し減った方がよい
☐ ⑤ その他()	

3 地域・まちづくり活動についてお伺いします。(問 12～問 14)

(問 12) あなたは区や自治会、地域自治町民会議、NPO、ボランティア活動などの地域・まちづくり活動に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

☐ ① 大いに関心がある	☐ ② 関心がある
☐ ③ あまり関心がない	☐ ④ 関心がない

(問 13) あなたは現在、地域・まちづくり活動に参加していますか。また今後、参加してみたいですか。次の中からそれぞれあてはまる箇所をすべて選んでください。

地域・まちづくり活動	参加の状況	
	現在参加している	今後参加してみたい
(1) 区や自治会、地域自治町民会議の活動	☐ ①	☐ ②
(2) 子ども会など青少年育成活動やPTA活動	☐ ①	☐ ②
(3) 青年団体、老人クラブ、女性団体などの活動	☐ ①	☐ ②
(4) 生涯学習、文化、スポーツに関する活動	☐ ①	☐ ②
(5) 地域の清掃・美化の活動	☐ ①	☐ ②
(6) 環境保護に関する活動	☐ ①	☐ ②
(7) 神社や寺院の世話役などの活動	☐ ①	☐ ②
(8) 地域の祭り・伝統芸能などの保全継承の活動	☐ ①	☐ ②
(9) 福祉に関する活動	☐ ①	☐ ②
(10) 地域の防災・防犯のための活動	☐ ①	☐ ②
(11) 観光に関する活動（観光ボランティアなど）	☐ ①	☐ ②
(12) その他（ ）	☐ ①	☐ ②

(問 14) あなたは、住民と行政の理想的な関係はどれだと思えますか。次の中から1つ選んでください。

☐ ① 住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する
☐ ② 住民と行政が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む
☐ ③ その他（ ）

4 養老町のイメージ、将来像についてお伺いします。(問 15～問 16)

(問 15) 養老町のイメージについてご回答ください。
各項目について1つずつ選んでください。

	そう 思う	やや 思う	思 あ わ ま り な い	思 わ な い
(1) 豊かな自然環境に包まれた美しいまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(2) 活力ある産業のまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(3) 自然や歴史などを生かした観光のまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(4) 多くの人を訪れる交流が盛んなまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(5) 便利で快適に暮らせるまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(6) 健康で安心して暮らせるまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(7) 教育・文化・スポーツなどの水準の高いまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④
(8) 町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④

(問 16) あなたが望む養老町の将来像はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

☐ ① 豊かな自然環境に包まれた美しいまち
☐ ② 活力ある産業のまち
☐ ③ 自然や歴史などを生かした観光のまち
☐ ④ 多くの人を訪れる交流が盛んなまち
☐ ⑤ 便利で快適に暮らせるまち
☐ ⑥ 健康で安心して暮らせるまち
☐ ⑦ 教育・文化・スポーツなどの水準の高いまち
☐ ⑧ 町民同士がふれあい、心豊かに暮らせるまち
☐ ⑨ その他 ()

5 現在、養老町で取り組んでいる施策について、現状の「満足度」と、今後の「重要度」をおたずねします。（問 17）

（問 17）以下の各施策の内容について、あてはまるものを1つ選んでください。

各項目について「現状の満足度」と「今後の重要度」を各1つ回答してください。

No.	施策 () 内は例示です。	現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
(1)	義務教育 (学校施設、教育内容の充実、指導・相談)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(2)	幼児教育 (こども園、幼児教育の充実)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(3)	生涯学習 (活動施設、学習情報の提供、講座・教室、学習機会の充実、活動団体の育成)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(4)	生涯スポーツ (スポーツ活動の普及、スポーツイベント、活動団体の育成)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(5)	多文化共生の推進 (国際交流、外国人住民の支援、地域での交流)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(6)	芸術・文化活動 (芸術・文化事業、発表の場、団体・指導者の育成)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(7)	歴史・文化の伝承 (文化財の調査・保存、公開と活用、歴史・文化学習)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(8)	人権教育 (関連団体の連携、推進体制、人権教育、啓発活動)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(9)	男女共同参画 (意識啓発、推進体制等環境条件の整備)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(10)	公共交通機関 (鉄道、バス路線、オンデマンドバス)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(11)	道路網 (国道(東海環状自動車道など)、県道、町道、道路環境)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(12)	計画的な土地利用 (土地利用、都市計画や市街地整備、開発指導)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

No.	施策 () 内は例示です。	現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
(13)	住宅・宅地 (計画的な供給、公営住宅、福祉等連携の住宅環境)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(14)	上下水道・排水・し尿処理 (水道・公共下水道、集落排水施設、合併処理浄化槽、し尿)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(15)	農林水産業の振興 (生産基盤、経営支援、環境保全型農業、生産組織、後継者育成、食肉産業施設、治山等)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(16)	商業・工業の振興 (企業誘致の促進、商店街の活性化、経営力の向上促進、地場産業の育成、新たな事業の支援、消費生活)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(17)	観光の振興 (観光資源の有効活用、特産ブランド品、観光PRの強化、ボランティアガイド)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(18)	雇用の安定・充実 (仕事と私生活の両立など雇用環境の改善、融資制度の充実)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(19)	子育て支援 (子育て支援体制、子育て情報、サークル活動支援、保育サービス、学童保育)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(20)	保健 (健診・相談・指導等保健事業の体制、母子・成人・高齢者保健)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(21)	健康づくり (町民の健康管理体制、健康づくり活動、軽スポーツ、食育)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(22)	地域医療 (医療施設と医療機能、在宅療養者の支援)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(23)	地域福祉 (小地域福祉活動、社会福祉協議会など推進組織、福祉教育、ボランティア活動)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

No.	施策 () 内は例示です。	現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
(24)	高齢者福祉 (ユニバーサルデザインなどの高齢社会対策、介護保険事業、在宅サービス、施設サービス、高齢者の生きがい)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(25)	障がい者福祉 (地域生活支援事業、障害福祉サービス)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(26)	環境保全 (ごみ処理・分別収集、ごみ減量化とリサイクル、公害防止や環境美化)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(27)	水と緑の空間 (公園、景観、斎苑・墓地環境)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(28)	交通安全、防犯 (交通安全施設、交通安全意識、防犯対策)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(29)	地域防災、危機管理 (防災体制、防災設備、防災対策、自主防災組織、砂防)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(30)	消防・救急 (常備消防・救急体制、消防団や防火クラブ、火災予防)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(31)	広報・広聴、情報通信 (広報・広聴の強化、広報紙等の充実、ICTの活用)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(32)	コミュニティ活動 (コミュニティ組織づくり、活動拠点の整備、コミュニティ活動の促進)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(33)	まちづくり活動 (町民参画の拡充、地域協働のしくみ、婚活)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(34)	行政経営 (行財政改革、組織の活性化、職員能力の向上、事務の効率化、公共施設の効率的な管理運営)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(35)	財政運営 (自主財源の確保、住民負担の適正化、事務事業評価・事業の見直し、効率的な財政運営)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

6 ご意見・ご提案など、今後の取り組みについてお伺いします。（問 18～21）

（問 18）あなたは、養老町にどんな魅力があると思いますか。

次の中から、3つまで選んでください。

☐ ① 水・山などの豊かな自然環境	☐ ② 地域を代表する地場産業
☐ ③ まつり・イベント	☐ ④ 道路や交通の便
☐ ⑤ 教育・文化スポーツ施設	☐ ⑥ 住みやすさ
☐ ⑦ 魅力的な店舗や歴史建造物	☐ ⑧ 人のよさ、優しさ、地域交流
☐ ⑨ 特産品や食材	☐ ⑩ 歴史人物、著名人など
☐ ⑪ 優れた伝統芸能	☐ ⑫ その他（ ）

（問 19）あなたが、養老町以外の方に自慢できる地域資源（自然、歴史、文化、産業など）は、具体的に何があると思いますか。（例）養老の滝、地下水、高田まつり等

一つ目	
二つ目	
三つ目	
四つ目	

（問 20）養老町の魅力や地域資源を、養老町外の方に発信していくために、有効と思われるものを、次の中からつ選んでください。

☐ ① ホームページ	☐ ⑤ 鉄道・駅構内等での広告
☐ ② SNS	☐ ⑥ 首都圏におけるイベントでのPR
☐ ③ 新聞	☐ ⑦ その他（ ）
☐ ④ パンフレット、地域情報紙	

（問 21）これからのまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

※以上でアンケートは終わりです。

お忙しいところ、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

養老町まちづくりアンケート

～まちの未来をみんなで考えよう～

アンケート調査にご協力をお願いします

日頃より町政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

養老町では、《誇りと愛着が持てる 絆を大切にするまち 養老》を将来像に掲げ、「養老町第五回総合計画（絆プラン）」（計画期間：平成23年度～32年度）に基づくまちづくりを進めています。

こうした中、平成32年度で第五回総合計画が終了することから、引き続き、長期的な視点に立ち、町政運営を総合的かつ計画的に進めていくため、「（仮称）養老町まちづくりビジョン（第六回総合計画）」を策定することとなりました。

このアンケートは、町内唯一の高校である「大垣養老高校」に通う生徒の皆さんに考えや思いをお聞きし、養老町の未来について、まちづくりビジョンに反映するために実施するものです。

この調査は、無記名でお答えいただき、回答結果は統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成31年1月

養老町長 大 橋 孝

<ご記入にあたって>

1. アンケートの対象者

- このアンケートは、大垣養老高等学校2年生の全生徒にお願いします。

2. 回答方法

- 選択式の設問は、該当する番号に☒してください。
- 記述式の設問は、あなたの考えを簡略にまとめ、回答欄に記入してください。

3. 締め切りと回収方法

- ご記入いただいた調査票は、2月22日（金）までにご回答ください。

4. 問い合わせ

- 養老町役場 総務部企画政策課 まちづくり企画係

TEL：（0584）32-1102（内線217）

FAX：（0584）32-2686

1 ご自身のことについて

1) あなたのご自身についてお伺いします。

(問1) あなたの性別は？

☐ ① 男性	☐ ② 女性
-------------------------------	-------------------------------

(問2) あなたのお住まいは？

☐ ① 養老町内	☐ ② 養老町外
---------------------------------	---------------------------------

2 町の印象やイメージなど

1) 町の印象

(問3) あなたは養老町のことが好きですか？(回答☒は一つ)

☐ ① 好きだ	☐ ② どちらかといえば好きだ
☐ ③ どちらとも言えない	☐ ④ どちらかといえば好きではない
☐ ⑤ 好きではない	☐ ⑥ その他()

2) 町の魅力

(問4) 養老町の魅力は何だとおもいますか？

次の中から☒は、3つまで選んでください。

☐ ① 水・山などの豊かな自然環境	☐ ② 地域を代表する地場産業
☐ ③ まつり・イベント	☐ ④ 道路や交通の便
☐ ⑤ 教育・文化スポーツ施設	☐ ⑥ 住みやすさ
☐ ⑦ 魅力的な店舗や歴史建造物	☐ ⑧ 人のよさ、優しさ、地域交流
☐ ⑨ 特産品や食材	☐ ⑩ 歴史人物、著名人など
☐ ⑪ 優れた伝統芸能	☐ ⑫ その他()

(問5) 養老町の自慢できる地域資源(自然、歴史、文化、産業など)は、具体的に何があると思いますか。(例) 養老の滝、地下水、高田まつり等

一つ目	
二つ目	
三つ目	
四つ目	

(問6) あなたは、将来、養老町に住みたいと思いますか？ (回答☑は一つ)

☐ ① 将来、養老町に住みたい	☐ ② 将来、養老町に住みたくない
☐ ③ 分からない	☐ ④ その他()

(問7) あなたが将来、養老町に住むことになったら、不満や不便に感じるものは何だと思いますか？次の中から☒は、3つまで選んでください。

☐ ① 自然環境	☐ ② 人間関係
☐ ③ 交通の便	☐ ④ 子育てなどの教育環境
☐ ⑤ 近隣環境（静穏・日照など）	☐ ⑥ 買い物の便
☐ ⑦ 福祉や医療面	☐ ⑧ 行政サービス
☐ ⑨ 公共施設の整備状況	☐ ⑩ その他（ ）

3 養老町の将来のまちづくりについて

(問 8) あなたが、もし養老町長になったら、一番にやってみたいことは何ですか。
また、将来どのようなまちになったらいいと思いますか？

※町長になったらやってみたいこと

--

※将来、こんなまちになってほしい。

--

※以上で、アンケートは終わりです。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

養老町まちづくりアンケート調査結果報告書

令和元年 8 月

編集／発行 養老町役場 総務部 企画政策課

〒503-1392

岐阜県養老郡養老町高田 798 番地

TEL 0584-32-1102

FAX 0584-32-2686

養老町HP <http://www.town.yoro.gifu.jp/>